

# 2019年3月期上期 決算説明会



会長兼CEO 鈴木博之

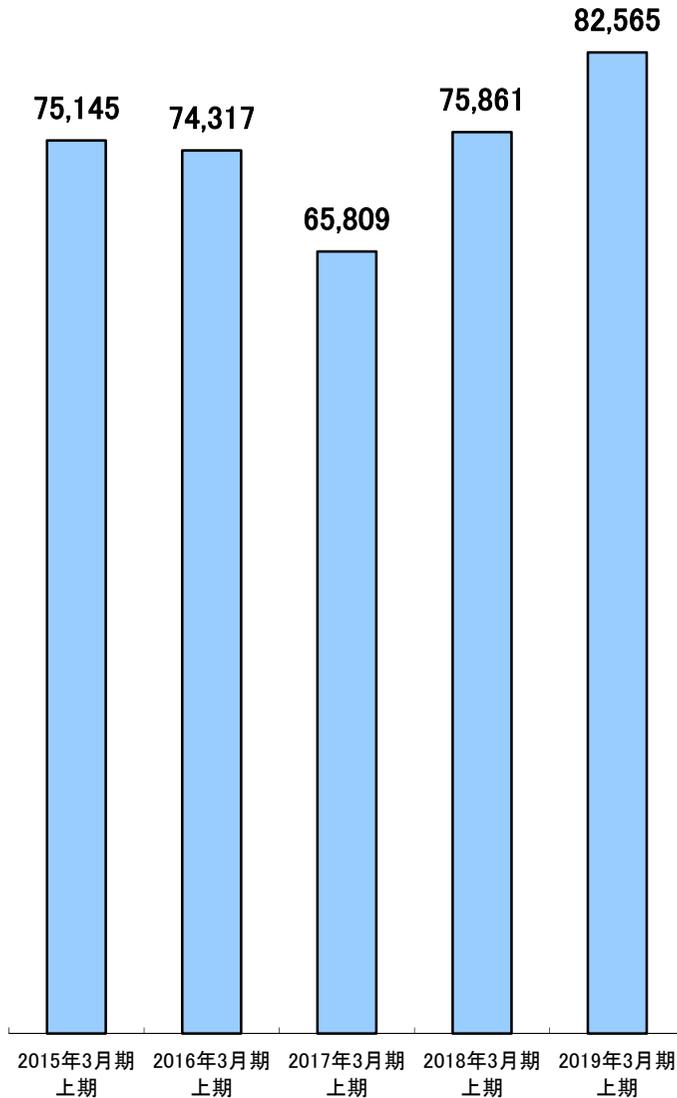
I. 2019年3月期上期 連結決算概要	…	P. 2
II. 2019年3月期上期 単体決算概要	…	P. 12
III. 2019年3月期 業績予想	…	P. 20
IV. 第5次中期経営計画初年度の見通し	…	P. 27
(参考資料)海外各社の概要と業績の推移	…	P. 48
(参考資料)丸一グループの特色	…	P. 57

2018年11月8日

# I . 2019年3月期上期 連結決算概要

# 連結営業成績

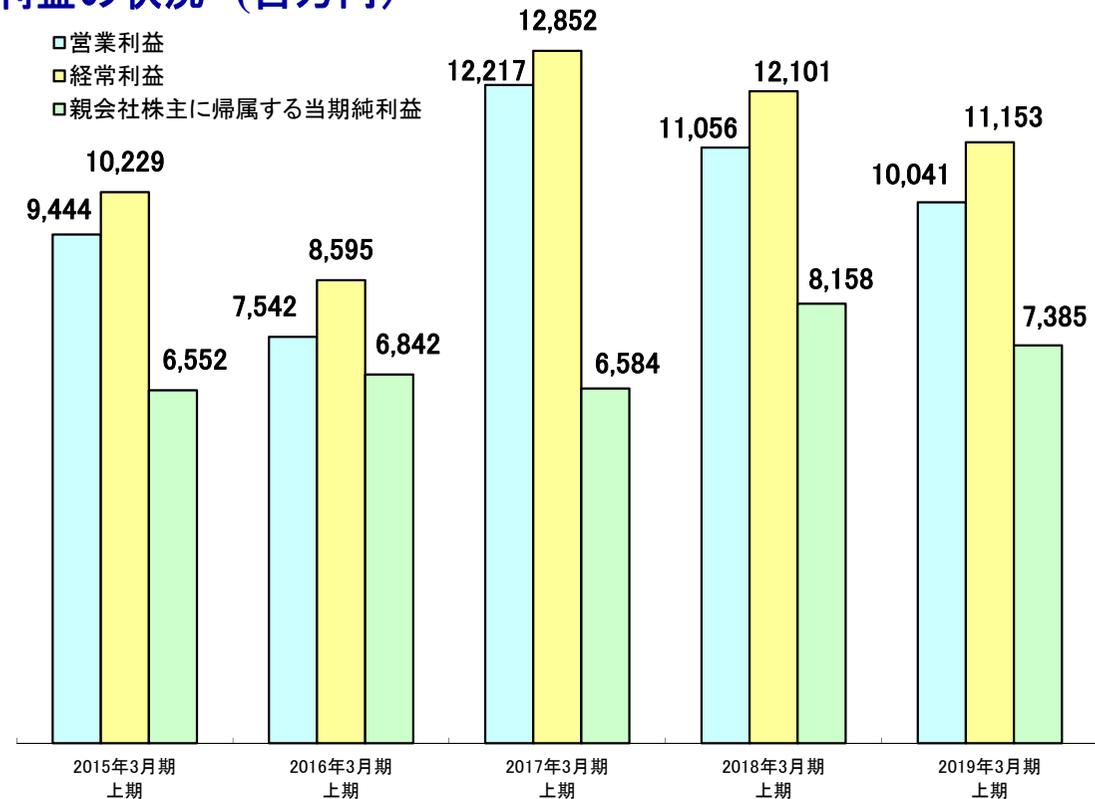
## 売上の状況 (百万円)



【単位 百万円】

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	増減率	8月発表 予想	増減率
売上高	75,861	82,565	+8.8%	81,500	+1.3%
営業利益	11,056	10,041	▲9.2%	9,800	+2.5%
経常利益	12,101	11,153	▲7.8%	10,800	+3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,158	7,385	▲9.5%	7,200	+2.6%

## 利益の状況 (百万円)



# 連結営業成績 損益計算書

	2015年3月期 上 期		2016年3月期 上 期		2017年3月期 上 期		2018年3月期 上 期		2019年3月期 上 期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)								
売上高	75,145	100.0%	74,317	100.0%	65,809	100.0%	75,861	100.0%	82,565	100.0%
売上原価	59,469	79.1%	60,293	81.1%	47,388	72.0%	58,362	76.9%	65,928	79.9%
売上総利益	15,675	20.9%	14,023	18.9%	18,421	28.0%	17,499	23.1%	16,636	20.1%
販売費及び一般管理費	6,231	8.3%	6,480	8.7%	6,204	9.4%	6,442	8.5%	6,594	8.0%
営業利益	9,444	12.6%	7,542	10.1%	12,217	18.6%	11,056	14.6%	10,041	12.2%
営業外収益	1,327	1.8%	1,496	1.8%	1,348	2.0%	1,475	1.9%	1,692	2.0%
営業外費用	541	0.7%	443	0.6%	713	1.1%	430	0.6%	580	0.7%
経常利益	10,229	13.6%	8,595	11.6%	12,852	19.5%	12,101	16.0%	11,153	13.5%
特別利益	740	1.0%	1,951	1.0%	198	0.3%	223	0.3%	3	0.0%
特別損失	14	0.0%	12	0.0%	1,883	2.9%	14	0.0%	59	0.1%
税金等調整前当期純利益	10,955	14.6%	10,534	14.2%	11,166	17.0%	12,310	16.2%	11,097	13.4%
法人税等	4,110	5.5%	4,045	5.4%	3,554	5.4%	3,846	5.1%	3,299	4.0%
非支配株主に帰属する当期純利益	2	0.0%	▲ 94	▲ 0.1%	617	0.9%	306	0.4%	412	0.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,842	9.1%	6,584	8.9%	6,994	10.6%	8,158	10.8%	7,385	8.9%

# 2019年3月期 第2四半期 連結P/L前期実績との差額要因



【単位 億円】

	2019年3月期上期			
	前期	今期	増減	増減率
<b>売上高</b>	758.6	825.7	+67.0	+8.8%
<b>営業利益</b>	110.6	100.4	▲10.2	▲9.2%
(受取利息・配当金等)	7.9	9.6	+1.7	
(持分法投資利益)	2.0	2.4	+0.4	
(その他営業外収入)	4.9	4.9	+0.0	
(支払利息)	1.1	1.1	+0.0	
(為替差損)	1.0	2.8	▲1.8	
(不動産賃貸費用)	1.8	1.5	+0.3	
(その他営業外費用)	0.4	0.5	▲0.1	
<b>経常利益</b>	121.0	111.5	▲9.5	▲7.8%
(投資有価証券売却益)	0.0	0.0	▲0.0	
(その他特別利益)	2.2	0.0	▲2.2	
(投資有価証券売却損)	0.1	0.0	+0.1	
(投資有価証券評価損)	0.0	0.0	+0.0	
(固定資産除去損)	0.1	0.4	▲0.3	
(その他特別損失)	0.0	0.2	▲0.2	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	123.1	111.0	▲12.1	▲9.9%
(法人税等)	38.5	33.0	+5.5	
<b>(四半期純利益)</b>	84.6	78.0	▲6.7	
(非支配株主に帰属する四半期純利益)	3.1	4.1	▲1.1	
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	81.6	73.9	▲7.7	▲9.5%

## 売上高

単体要因	+16.0億円
MAC	+12.5億円
MKK USA INC.	+13.1億円
MOST	+8.6億円
MMX	+0.2億円
SUNSCO(含Hanoi)	+11.5億円
KUMA	+3.6億円
その他国内子会社	+0.5億円
連結消去・組換仕訳増減	+1.0億円

## 営業利益

単体要因	▲14.3億円
MAC	+4.7億円
MKK USA INC.	+1.0億円
MOST	+0.7億円
MMX	▲0.6億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲0.2億円
KUMA	▲0.2億円
アルファメタル	▲0.5億円
その他国内子会社	▲0.7億円
連結消去・組換仕訳増減	▲0.0億円

## 経常利益

単体要因	▲15.7億円
MAC	+4.8億円
MKK USA INC.(内MOST +0.4億円)	+1.0億円
MOST	+0.4億円
MMX	▲0.3億円
SUNSCO(含Hanoi)	▲2.7億円
KUMA	▲1.9億円
アルファメタル	▲0.4億円
その他国内子会社利益	▲1.1億円
持分法適用関連会社	+0.1億円
連結消去・組換仕訳増減	+6.5億円

# 連結経営成績 セグメント別

【単位 百万円】

	2018年3月期 上期				2019年3月期 上期			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	47,990	63.3%	9,079	82.1%	49,816	60.3%	7,464	74.3%
北米	13,644	18.0%	1,241	11.2%	17,351	21.0%	1,869	18.6%
アジア	14,331	18.9%	599	5.4%	15,830	19.2%	576	5.7%
調整額	▲ 104	▲0.1%	137	1.2%	▲ 432	▲0.5%	133	1.3%
合計	75,861	100.0%	11,057	100.0%	82,565	100.0%	10,042	100.0%

# 連結営業成績 損益計算書 8月開示(予想)との差額主要因



【単位 億円】

	2019年3月期 上期		
	8月予想	上期実績	差 額
売 上 高	815.0	825.7	10.7
営 業 利 益	98.0	100.4	2.4
経 常 利 益	108.0	111.5	3.5
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	72.0	73.9	1.9

売 上 高	予想	実績	影響額
丸一単体	488.2億円	476.3億円	▲11.9億円
MAC	43.2億円	50.9億円	7.7億円
MKK USA INC.	64.9億円	73.1億円	8.2億円
MOST	29.2億円	35.5億円	6.3億円
MMX	9.8億円	11.5億円	1.7億円
SUNSCO(Hanoiを含む)	131.4億円	128.0億円	▲3.4億円
KUMA	33.8億円	33.4億円	▲0.5億円
アルファメタル	25.6億円	25.6億円	0.0億円
その他国内子会社	10.1億円	10.3億円	0.2億円
連結調整(機械売上、関連帯鋼が主体)	▲21.1億円	▲18.8億円	2.3億円

営 業 利 益	予想	実績	影響額
丸一単体	67.2億円	66.0億円	▲1.2億円
MAC	3.5億円	6.7億円	3.2億円
MKK USA INC.	3.9億円	6.8億円	2.9億円
MOST	2.3億円	3.0億円	0.8億円
MMX	2.2億円	2.2億円	▲0.0億円
SUNSCO(含 Hanoi)	4.2億円	2.2億円	▲2.0億円
KUMA	3.5億円	3.5億円	▲0.0億円
アルファメタル	0.7億円	0.3億円	▲0.4億円
その他国内子会社	7.5億円	6.5億円	▲1.0億円
のれん	0.0億円	0.0億円	0.0億円
連結調整	3.0億円	3.2億円	0.2億円

経 常 利 益	予想	実績	影響額
丸一単体	89.7億円	90.8億円	1.1億円
MAC	3.7億円	7.1億円	3.4億円
MKK USA INC.	3.8億円	6.6億円	2.9億円
MOST	2.1億円	2.8億円	0.7億円
MMX	2.2億円	2.3億円	0.1億円
SUNSCO(含 Hanoi)	2.8億円	0.9億円	▲2.0億円
KUMA	3.4億円	1.6億円	▲1.8億円
アルファメタル	0.8億円	0.4億円	▲0.4億円
その他国内子会社	10.2億円	9.3億円	▲0.9億円
持分法適用関連会社	1.2億円	2.1億円	0.9億円
連結調整	▲11.9億円	▲12.3億円	▲0.5億円

親会社株主に帰属する四半期純利益	予想	実績	影響額
丸一単体	62.1億円	64.4億円	2.3億円
MAC	2.2億円	4.3億円	2.0億円
MKK USA INC.	3.4億円	5.9億円	2.6億円
MOST	1.3億円	1.7億円	0.4億円
MMX	1.5億円	1.6億円	0.1億円
SUNSCO(含 Hanoi)	2.2億円	0.9億円	▲1.3億円
KUMA	2.5億円	1.2億円	▲1.3億円
アルファメタル	0.5億円	0.2億円	▲0.3億円
その他国内子会社	7.1億円	6.5億円	▲0.6億円
連結調整	▲10.8億円	▲12.9億円	▲2.1億円

# 連結営業成績 主要会社8月開示(予想)と実績との差額



(単位 億円)

2018年8月開示上期予想					2019年3月期上期実績							
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
						差額		差額		差額		差額
丸一鋼管	488.2	67.2	89.7	62.1	476.3	▲11.9	66.0	▲1.2	90.8	1.1	64.4	2.3
MAC	43.2	3.5	3.7	2.2	50.9	7.7	6.7	3.2	7.1	3.4	4.3	2.0
MKK USA INC.	64.9	3.9	3.8	3.4	73.1	8.2	6.8	2.9	6.6	2.9	5.9	2.6
MOST	29.2	2.3	2.1	1.3	35.5	6.3	3.0	0.8	2.8	0.7	1.7	0.4
MMX	9.8	2.2	2.2	1.5	11.5	1.7	2.2	▲0.0	2.3	0.1	1.6	0.1
SUNSCO (含Hanoi)	131.4	4.2	2.8	2.2	128.0	▲3.4	2.2	▲2.0	0.9	▲2.0	0.9	▲1.3
KUMA	33.8	3.5	3.4	2.5	33.4	▲0.5	3.5	▲0.0	1.6	▲1.8	1.2	▲1.3
アルファメタル	25.6	0.7	0.8	0.5	25.6	0.0	0.3	▲0.4	0.4	▲0.4	0.2	▲0.3
その他 国内子会社	10.1	7.5	10.2	7.1	10.3	0.2	6.5	▲1.0	9.3	▲0.9	6.5	▲0.6
持分法適用 関連会社			1.2						2.1	0.9		
のれん代		0.0					0.0	0.0				
連結調整	▲21.1	3.0	▲11.9	▲10.8	▲18.8	2.3	3.2	0.2	▲12.3	▲0.5	▲12.9	▲2.1
合計	815.0	98.0	108.0	72.0	825.7	10.7	100.4	2.4	111.5	3.5	73.9	1.9

# 連結営業成績 貸借対照表 前期対比



【単位 億円】

	2019/3 月 期 上 期		
	前 期 末	当 期 金 額	差 額
流 動 資 産	1,587	1,637	+49.7
( 現 金 及 び 預 金 )	584	594	+10.2
( 受 手 ・ 売 掛 金 )	365	365	▲0.0
( 棚 卸 資 産 )	275	293	+17.5
( そ の 他 )	363	385	+22.1
固 定 資 産	1,570	1,563	▲6.7
( 有 形 固 定 資 産 )	806	802	▲4.2
( 無 形 固 定 資 産 )	18	18	▲0.6
( 投 資 そ の 他 の 資 産 )	746	744	▲2.0
資 産 合 計	3,157	3,200	+43.0
流 動 負 債	347	347	+0.5
( 支 手 ・ 買 掛 金 )	184	193	+8.5
( 短 期 借 入 金 )	63	63	▲0.8
( 未 払 法 人 税 等 )	30	31	+0.1
( そ の 他 )	68	61	▲7.3
固 定 負 債	117	121	+3.9
負 債 合 計	464	468	+4.5
純 資 産	2,693	2,732	+38.6
( 資 本 金 )	96	96	+0.0
( 資 本 剰 余 金 )	159	159	+0.0
( 利 益 剰 余 金 )	2,485	2,513	+27.9
( 自 己 株 式 )	▲271	▲271	+0.0
(その他有価証券評価差額)	124	143	+19.8
( 為 替 調 整 勘 定 )	▲6	▲16	▲9.9
(退職給付にかかる調整額)	▲1	▲0	+0.2
( 新 株 予 約 権 )	2	2	+0.2
( 少 数 株 主 持 分 )	105	105	+0.4
負 債 ・ 純 資 産 合 計	3,157	3,200	+43.0

## 流 動 資 産 増 減 要 因

現金及び預金	国 内	+13.5億円	海 外	▲1.2億円	連結調整	▲2.1億円
受手・売掛金	国 内	▲8.2億円	海 外	+14.6億円	連結調整	▲6.5億円
たな卸資産	国 内	+13.5億円	海 外	+2.9億円	連結調整	+1.0億円
そ の 他	子会社NCD	+3.9億円	その他	+4.8億円	連結調整	+13.3億円

## 固 定 資 産 増 減 要 因

丸 一	▲1.9億円	国内子会社	+3.2億円	MOST	▲0.8億円	
有形固定資産	MAC	▲0.5億円	MKK USA INC.	+6.0億円	SUNSCO	▲9.8億円
	KUMA	▲1.0億円	MMX	▲0.6億円	連結調整	+1.2億円
無形固定資産	丸 一	+0.3億円	子会社	▲0.9億円	連結調整	+0.0億円
投資その他の資産	国 内	+2.0億円	海 外	▲0.8億円	連結調整	▲3.1億円

## 流 動 負 債 増 減 要 因

支手・買掛金	国 内	▲11.7億円	海 外	+19.8億円	連結調整	+0.4億円
短期借入金	アルファメタル	+0.4億円	SUNSCO	+0.3億円	MKK USA INC.	▲1.1億円
	KUMA	+1.9億円	MMX	▲0.4億円	連結調整	▲1.9億円
未払法人税等	丸 一	▲0.8億円	子会社	+1.0億円	連結調整	+0.0億円
そ の 他	丸 一	▲6.6億円	子会社	▲2.3億円	連結調整	+1.7億円

## 固 定 負 債 増 減 要 因

丸 一	+6.5億円	国内子会社	+0.2億円	連結調整	+9.1億円	
固定負債	SUNSCO	▲8.1億円	KUMA	▲3.8億円	MKK USA INC.	▲0.0億円
	MMX	+0億円	MAC	▲0億円	MOST	+0億円

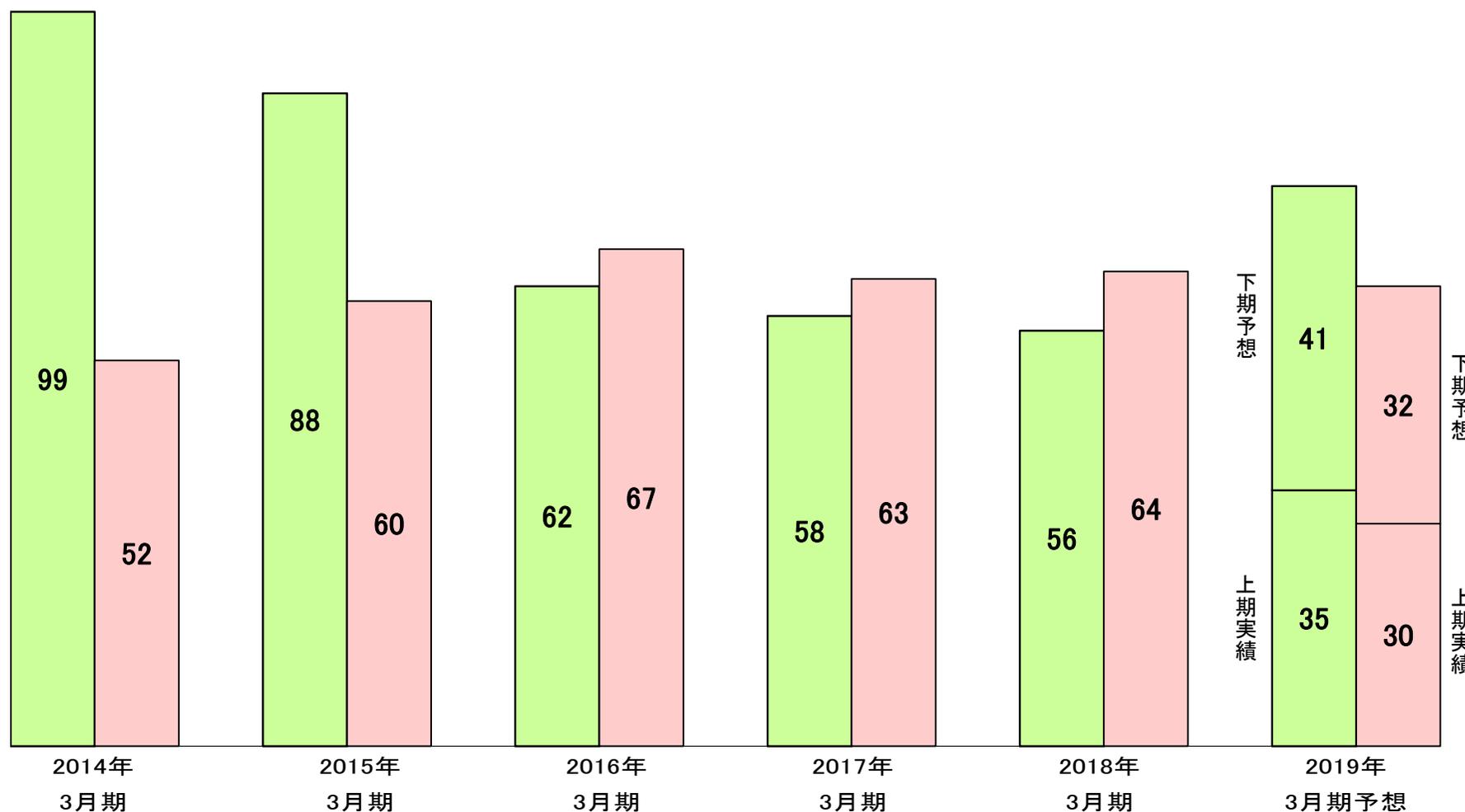
## 純 資 産 増 減 要 因

利益剰余金	国 内	+16.9億円	海 外	+13.1億円	連結調整	▲2.1億円
その他の有価証券評価差額金	丸 一	+22.1億円	子会社	▲0.0億円	連結調整	▲2.3億円
為替調整勘定	17/12月末 113.00円/US\$ → 18/6月末 110.54円/US\$					

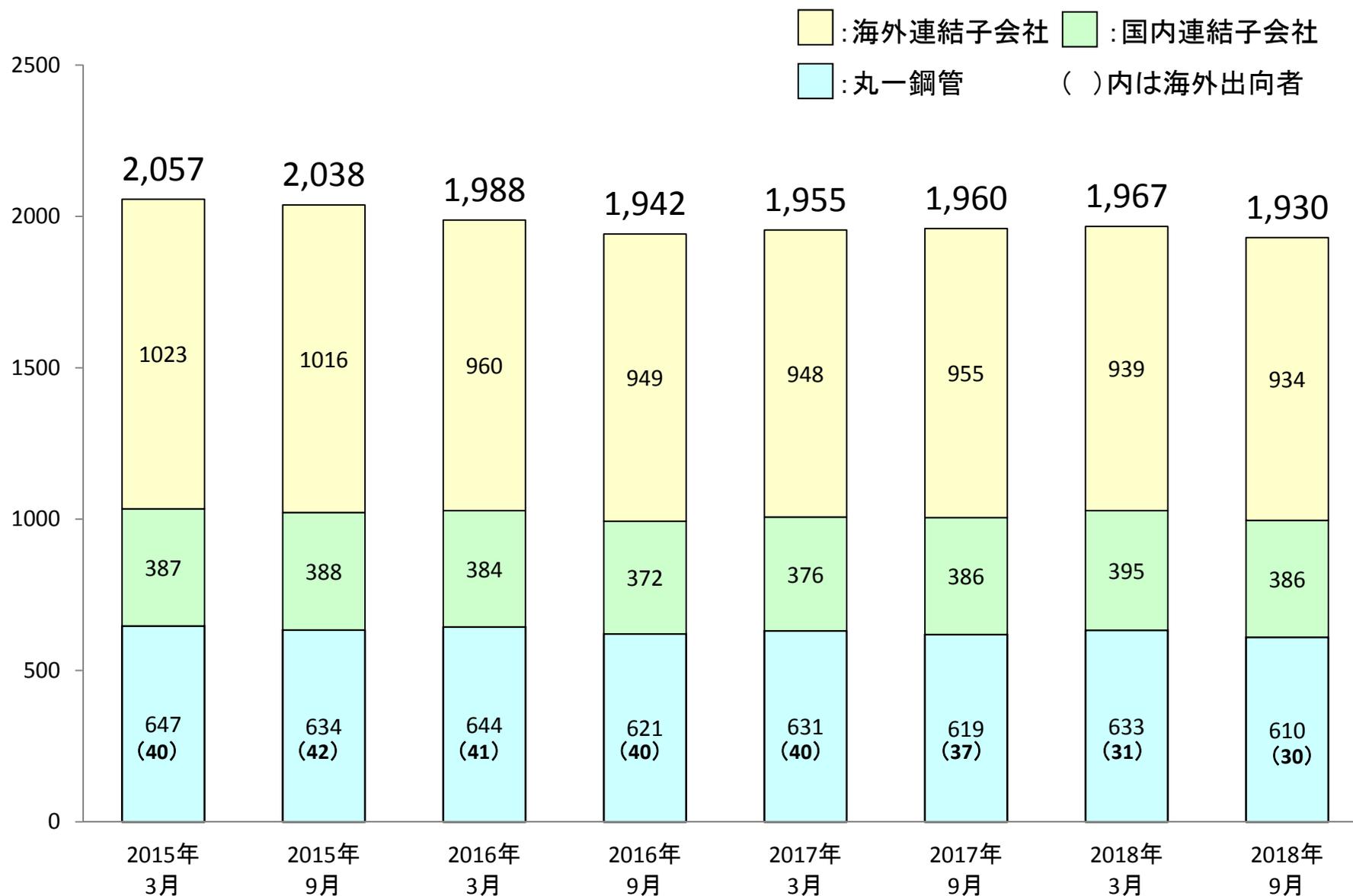
# 連結営業成績 設備投資額及び減価償却費の推移

【単位:億円】

- 減価償却費
- 設備投資額



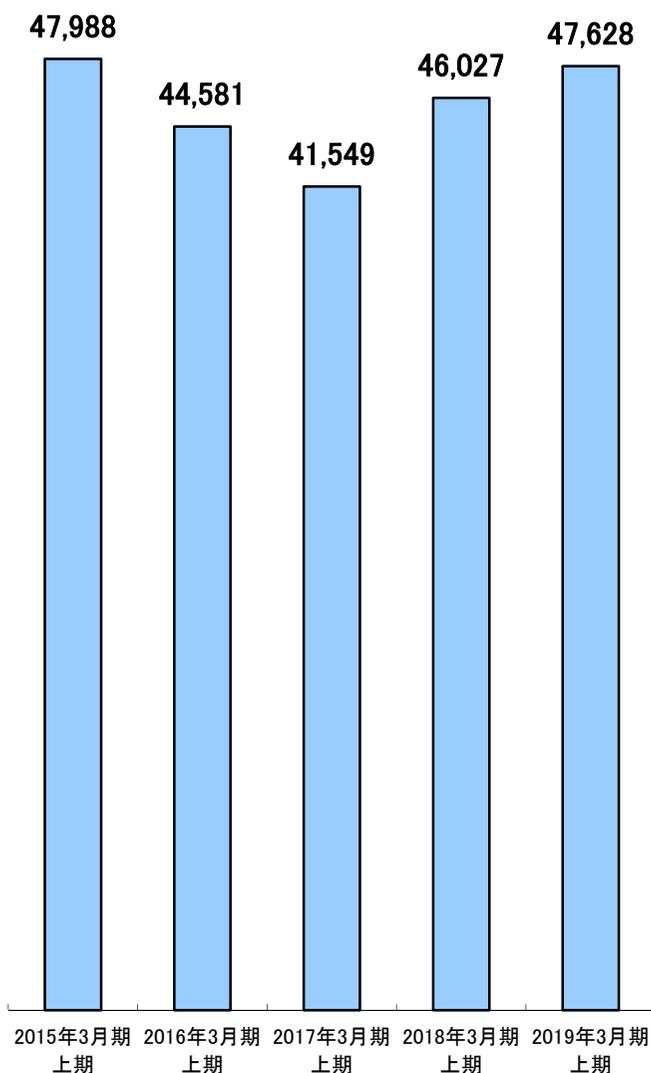
# 従業員数の推移



## Ⅱ. 2019年3月期上期 单体決算概要

# 単体経営成績

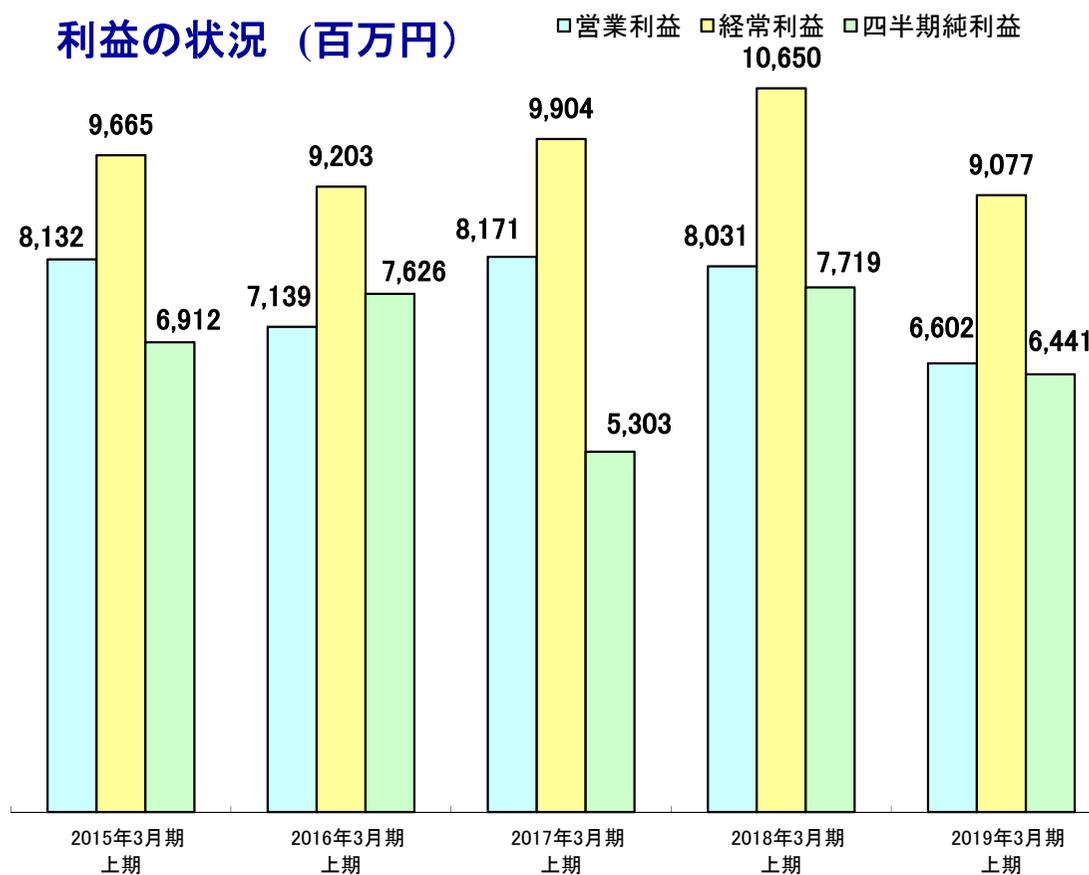
## 売上の状況 (百万円)



【単位 百万円】

	2018年3月期 上期実績	2019年3月期 上期実績	増減率	8月発表 上期予想	増減率
売上高	46,027	47,628	+3.5%	48,823	▲2.4%
営業利益	8,031	6,602	▲17.8%	6,719	▲1.7%
経常利益	10,650	9,077	▲14.8%	8,971	+1.2%
当期純利益	7,719	6,441	▲16.6%	6,212	+3.7%

## 利益の状況 (百万円)



# 単体経営成績 損益計算書

	2015年3月期 上		2016年3月期 上		2017年3月期 上		2018年3月期 上		2019年3月期 上	
	金額 (百万円)	構成比 (%)								
売上高	47,988	100.0%	44,581	100.0%	41,549	100.0%	46,027	100.0%	47,628	100.0%
売上原価	36,678	76.4%	34,306	77.0%	30,197	72.7%	34,853	75.7%	37,833	79.4%
売上総利益	11,309	23.6%	10,275	23.0%	11,352	27.3%	11,174	24.3%	9,794	20.6%
販売費及び一般管理費	3,176	6.6%	3,135	7.0%	3,180	7.7%	3,142	6.8%	3,191	6.7%
営業利益	8,132	16.9%	7,139	16.0%	8,171	19.7%	8,031	17.4%	6,602	13.9%
営業外収益	1,725	3.6%	2,299	5.2%	2,015	4.9%	2,858	6.2%	2,686	5.6%
営業外費用	192	0.4%	235	0.5%	283	0.7%	239	0.5%	211	0.4%
経常利益	9,665	20.1%	9,203	20.6%	9,904	23.8%	10,650	23.1%	9,077	19.1%
特別利益	725	1.5%	1,944	4.4%	185	0.4%	222	0.5%	1	0.0%
特別損失	12	0.0%	8	0.0%	1,875	4.5%	13	0.0%	36	0.1%
税引前当期純利益	10,377	21.6%	11,139	25.0%	8,214	19.8%	10,859	23.6%	9,042	19.0%
法人税等	3,465	7.2%	3,513	7.9%	2,911	7.0%	3,140	6.8%	2,601	5.5%
法人税等調整額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
四半期純利益	6,912	14.4%	7,626	17.1%	5,303	12.8%	7,719	16.8%	6,441	13.5%

# 単体経営成績 損益計算書 前期実績との差額要因

【単位 億円】

	2019年3月期上期			
	前期	今期	増減	増減率
売上高	460.3	476.3	+16.0	+3.5%
営業利益	80.3	66.0	▲14.3	▲17.8%
(受取配当金・債券利息等)	22.0	20.1	▲1.9	
(家賃収入)	3.6	3.7	+0.1	
(ロイヤリティ収入)	2.2	2.3	+0.2	
(その他営業外収益)	0.8	0.7	▲0.1	
(賃貸費用)	2.2	1.9	▲0.3	
(その他営業外費用)	0.2	0.2	+0.0	
経常利益	106.5	90.8	▲15.7	▲14.8%
(投資有価証券売却益)	0.0	0.0	▲0.0	
(固定資産売却益)	2.2	0.0	▲2.2	
(その他特別利益)	0.0	0.0	+0.0	
(有価証券売却損)	0.1	0.0	▲0.1	
(有価証券評価損)	0.0	0.0	+0.0	
(固定資産除去費・撤去費)	0.1	0.2	+0.1	
(その他特別損失)	0.0	0.2	+0.2	
税金等調整前四半期純利益	108.6	90.4	▲18.2	▲16.7%
(法人税等)	31.4	26.0	▲5.4	
(法人税等調整額)	0.0	0.0	+0.0	
当期純利益	77.2	64.4	▲12.8	▲16.6%

## 売上高 利益影響額

国内パイプ販売数量減	▲13.5億円
国内パイプ販売単価上昇	20.3億円
輸出パイプ販売数量増	1.0億円
輸出パイプ販売単価上昇	0.3億円
帯鋼販売数量減	▲0.9億円
帯鋼販売単価上昇	3.6億円
特品事業部	▲0.4億円
関連帯鋼	0.4億円
機械その他	5.0億円

## 営業利益 増減

総販売数量減	▲2.4億円
総販売単価上昇	29.8億円
売上原価増	▲40.3億円
販売費及び一般管理費増	▲1.4億円

## 経常利益 増減

営業利益より	▲14.3億円
受取配当金・有価証券利息等減	▲1.9億円
その他営業外収益増	0.2億円
営業外費用減	0.3億円

## 税金等調整前四半期純利益 増減

経常利益より	▲15.7億円
投資有価証券売却益減	▲0.0億円
固定資産売却益減	▲2.2億円
投資有価証券売却損増	0.1億円
有価証券評価損	0.0億円
固定資産除去費・撤去費減	▲0.1億円
その他項目	▲0.2億円

## 四半期純利益 増減

税引前当期純利益より	▲18.2億円
法人税等増	5.4億円
法人税等調整額	0.0億円

# 単体営業成績 損益計算書 8月開示(予想)との差額主要因



【単位 億円】

	2019年3月期 上期			
	8月開示 上期予想	上期実績	差 額	増 減 率
売 上 高	488.2	476.3	▲11.9	▲2.4%
営 業 利 益	67.2	66.0	▲1.2	▲1.7%
経 常 利 益	89.7	90.8	+1.1	+1.2%
税金等調整前 当期純利益	89.4	90.4	+1.0	+1.1%
当期純利益	62.1	64.4	+2.3	+3.7%

売 上 高	増 減
国内パイプ販売数量	▲15.1億円
国内パイプ販売単価	+2.0億円
輸出パイプ販売数量	+0.9億円
輸出パイプ販売単価	▲0.0億円
帯鋼販売数量	▲2.0億円
帯鋼販売単価	▲0.0億円
特品事業部	▲2.1億円
関連帯鋼	▲0.4億円
機械その他	+4.9億円

営 業 利 益	増 減
全体販売数量要因	▲2.3億円
全体販売単価要因 (内国内パイプ単価要因)	+4.8億円 (+2.3億円)
売上原価	▲4.7億円
販管費	+1.0億円

経 常 利 益	増 減
営業利益より	▲1.2億円
受取配当金・有価証券利息等	+0.7億円
その他営業外収益	+1.5億円
営業外費用	+0.1億円

税 引 前 利 益	増 減
経常利益より	+1.1億円
投資有価証券売却益	+0.0億円
固定資産売却益	+0.0億円
固定資産除去費・撤去費	+0.1億円
投資有価証券売却損	▲0.0億円
その他	▲0.2億円

四 半 期 純 利 益	増 減
税引前利益より	+1.0億円
法人税等	+1.3億円
法人税等調整額	+0.0億円

# 単体営業成績 貸借対照表 前期対比

【単位 億円】

	2019年3月期 上期		
	前 期	今 期	差 額
流 動 資 産	1,040.2	1,075.8	+35.6
(現金及び預金)	498.0	528.0	+30.0
(受手・売掛金)	342.3	330.0	▲12.3
(棚卸資産)	100.3	113.3	+13.0
(その他)	99.6	104.4	+4.8
固 定 資 産	1,349.3	1,349.9	+0.6
(有形固定資産)	439.6	437.7	▲1.9
(無形固定資産)	2.6	2.9	+0.3
(投資その他の資産)	907.1	909.2	+2.2
資 産 合 計	2,389.4	2,425.6	+36.2
流 動 負 債	221.8	210.6	▲11.1
(支手・買掛金)	154.5	150.9	▲3.6
(未払法人税等)	25.8	25.0	▲0.8
(その他)	41.5	34.8	▲6.6
固 定 負 債	67.8	74.3	+6.5
負 債 合 計	289.6	285.0	▲4.6
純 資 産	2,099.9	2,140.7	+40.8
(資本金)	96.0	96.0	+0.0
(資本剰余金)	147.3	147.3	+0.0
(利益剰余金)	2,009.6	2,028.0	+18.4
(自己株式)	▲270.6	▲270.5	+0.0
(その他有価証券評価差額)	115.9	138.1	+22.1
(新株予約権)	1.7	1.9	+0.2
負債・純資産合計	2,389.4	2,425.6	+36.2

## 流動資産

現金及び預金	+30.0億円				
税前利益	+90.4億円	減価償却	+12.2億円	自己株購入	+0.0億円
株式関連	+0.0億円	債券関連	+20.0億円	運転資金	+1.3億円
配当・納税	▲71.7億円	設備投資	▲10.8億円	関係会社株式	▲10.5億円
売上債権	▲12.3億円			その他	▲1.0億円
受取手形	▲0.1億円	売掛金	▲12.1億円		
たな卸資産	+13.0億円				
製品	+0.8億円	原材料	+12.2億円	貯蔵品他	▲0.0億円
その他	+4.8億円				
NCD	+0.0億円	その他	+4.8億円		

## 固定資産

有形固定資産	▲1.9億円				
新規投資	+10.3億円	減価償却	▲12.2億円		
投資その他の資産	+2.2億円				
投資有価証券評価差額金	+31.6億円	株式関係	+10.5億円	債券関係	▲33.6億円
投資有価証券評価損	+0.0億円	その他	▲6.4億円		

## 流動負債

支手・買掛金	▲3.6億円				
支手電債	▲3.0億円	買掛金	▲0.6億円		
その他	▲6.6億円				
設備未払・設備支手	▲7.5億円	その他	+0.8億円		

## 固定負債

固定負債	+6.5億円				
退職給付引当金	+1.0億円	繰延税金固定負債	+4.9億円	その他	+0.6億円

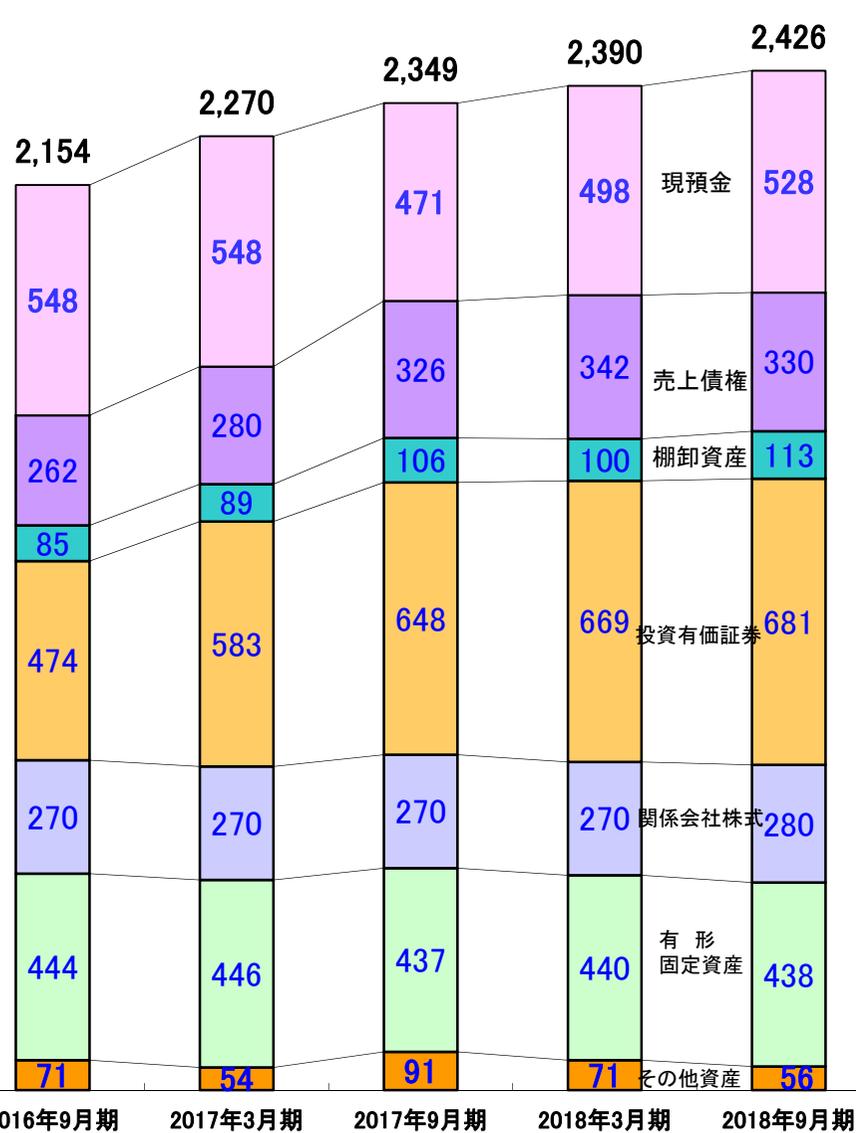
## 純資産

利益剰余金	+18.4億円				
当期純利益	+64.4億円	配当金	▲46.0億円	中間配当金	+0.0億円
その他有価証券評価差額金	+22.1億円			自己株式差損	+0.0億円
債券・投信	▲1.5億円	上場株式	+19.2億円	海外上場株式	+4.4億円

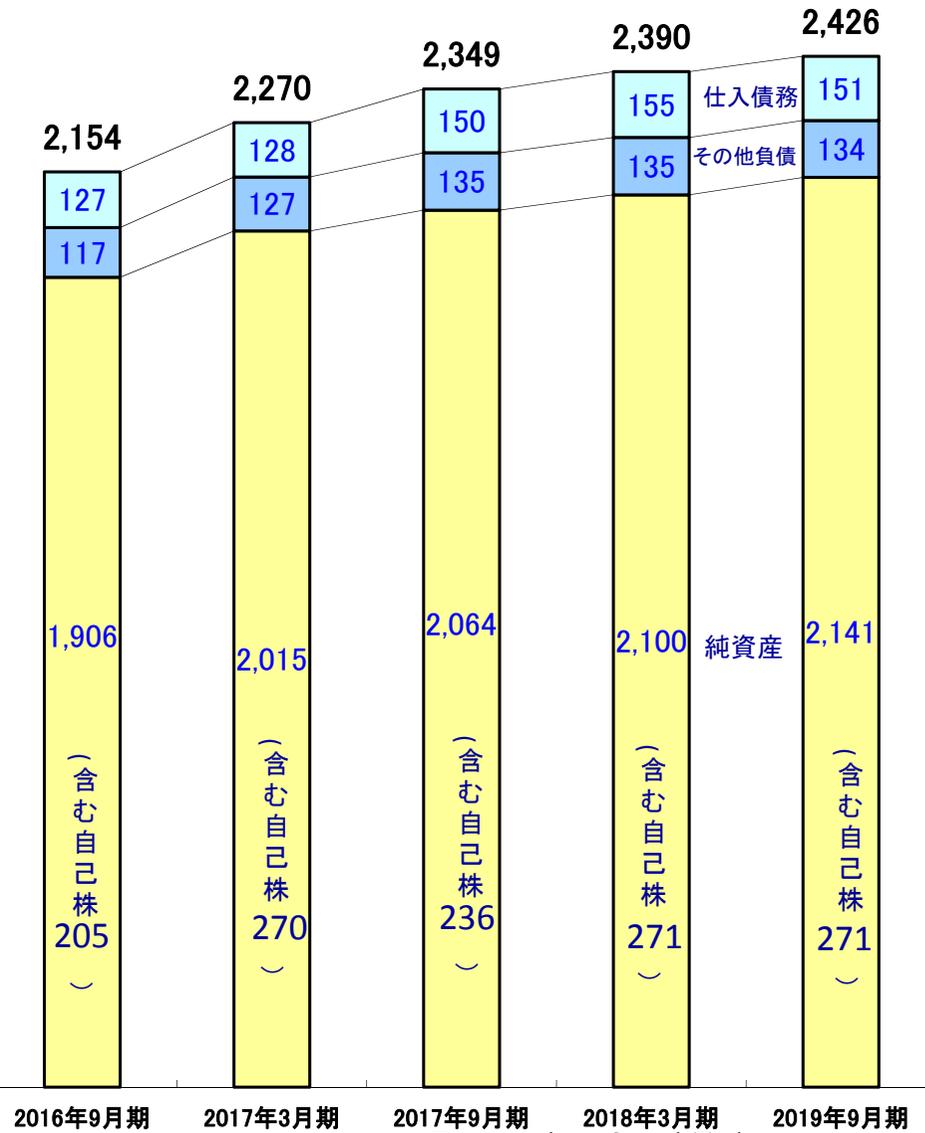
# 単体営業成績 貸借対照表の推移

## 資産

【単位: 億円】



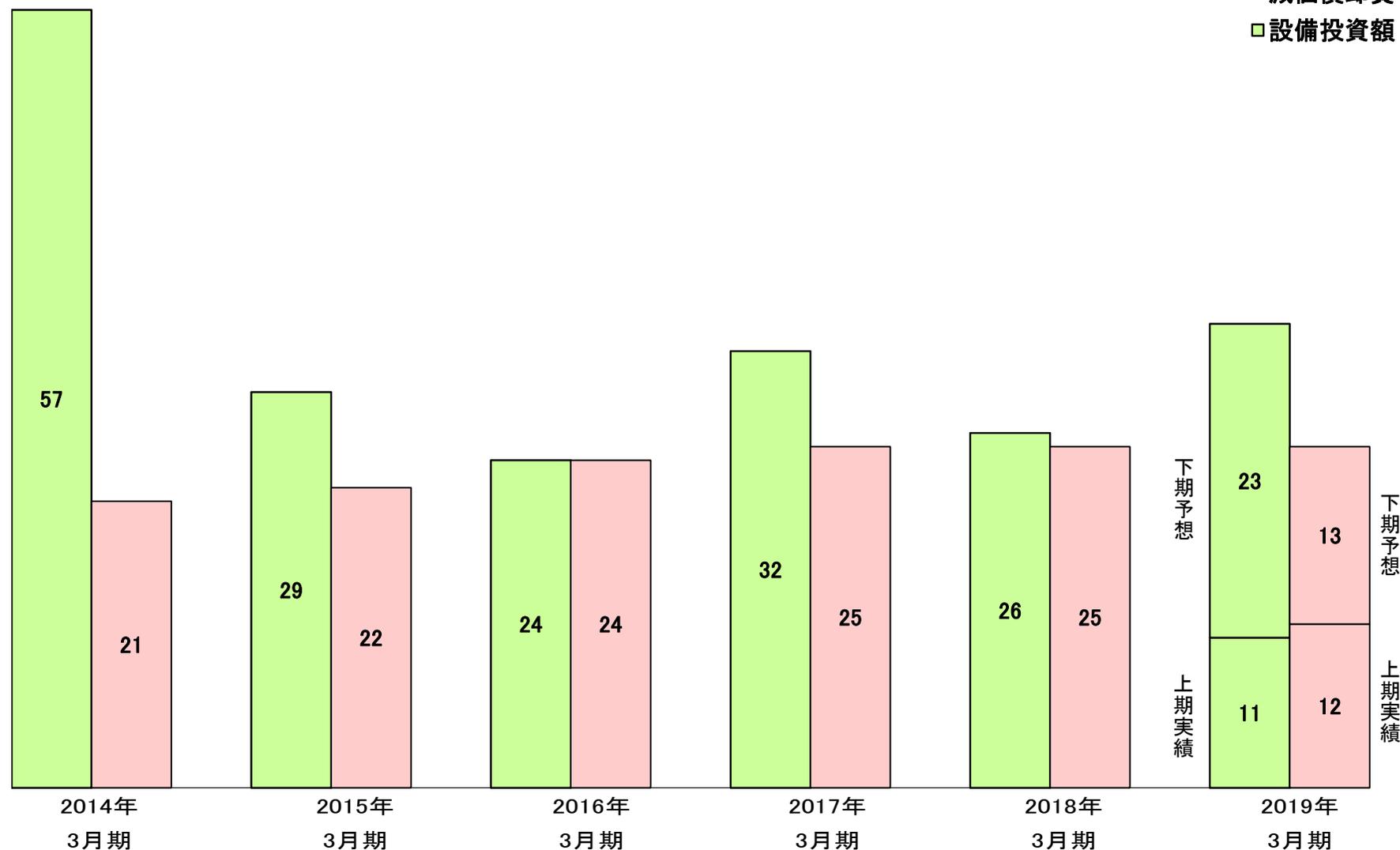
## 負債及び純資産



# 単体営業成績 設備投資額及び減価償却費の推移

【単位:億円】

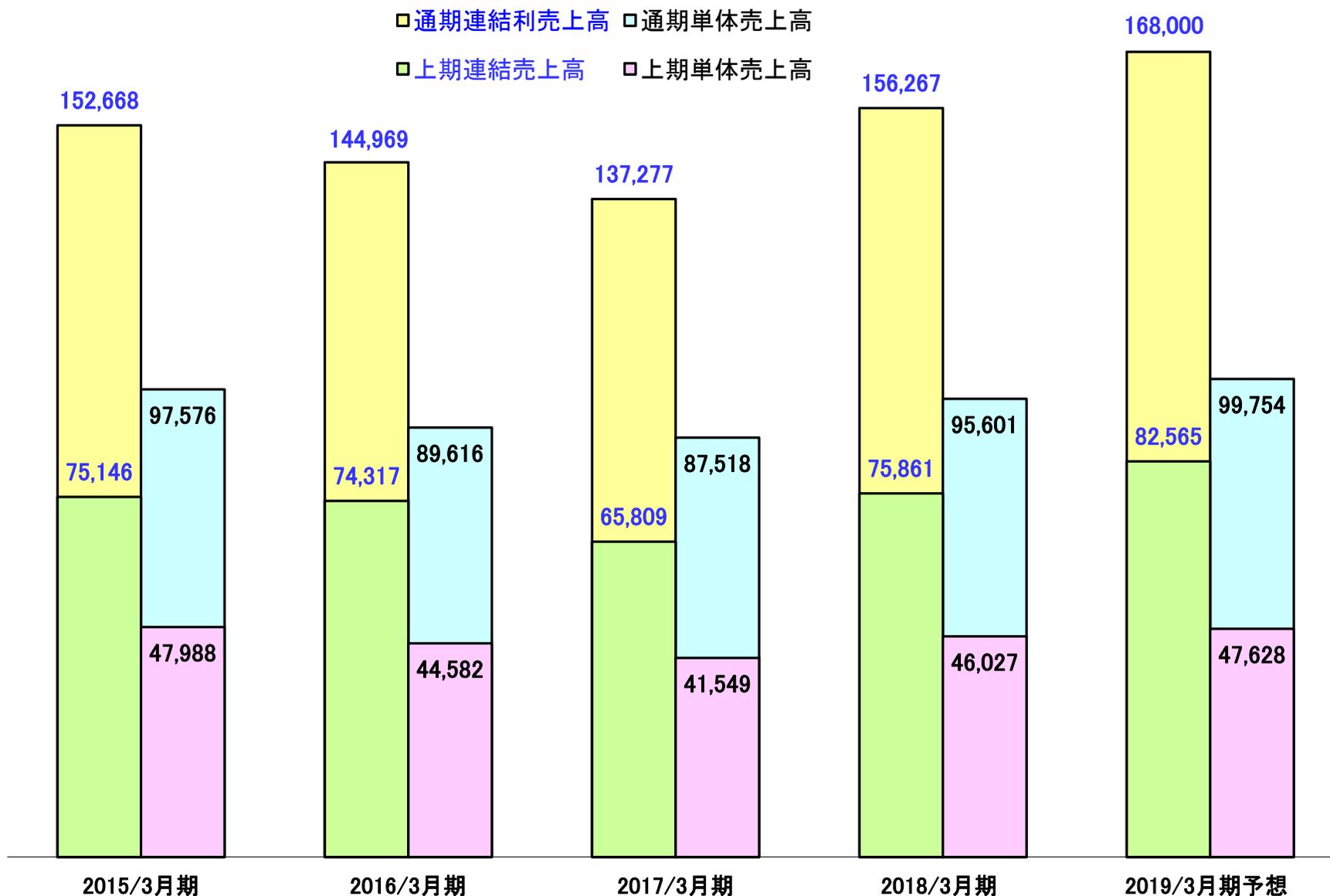
□ 減価償却費  
□ 設備投資額



# Ⅲ. 2019年3月期上期 業績予想

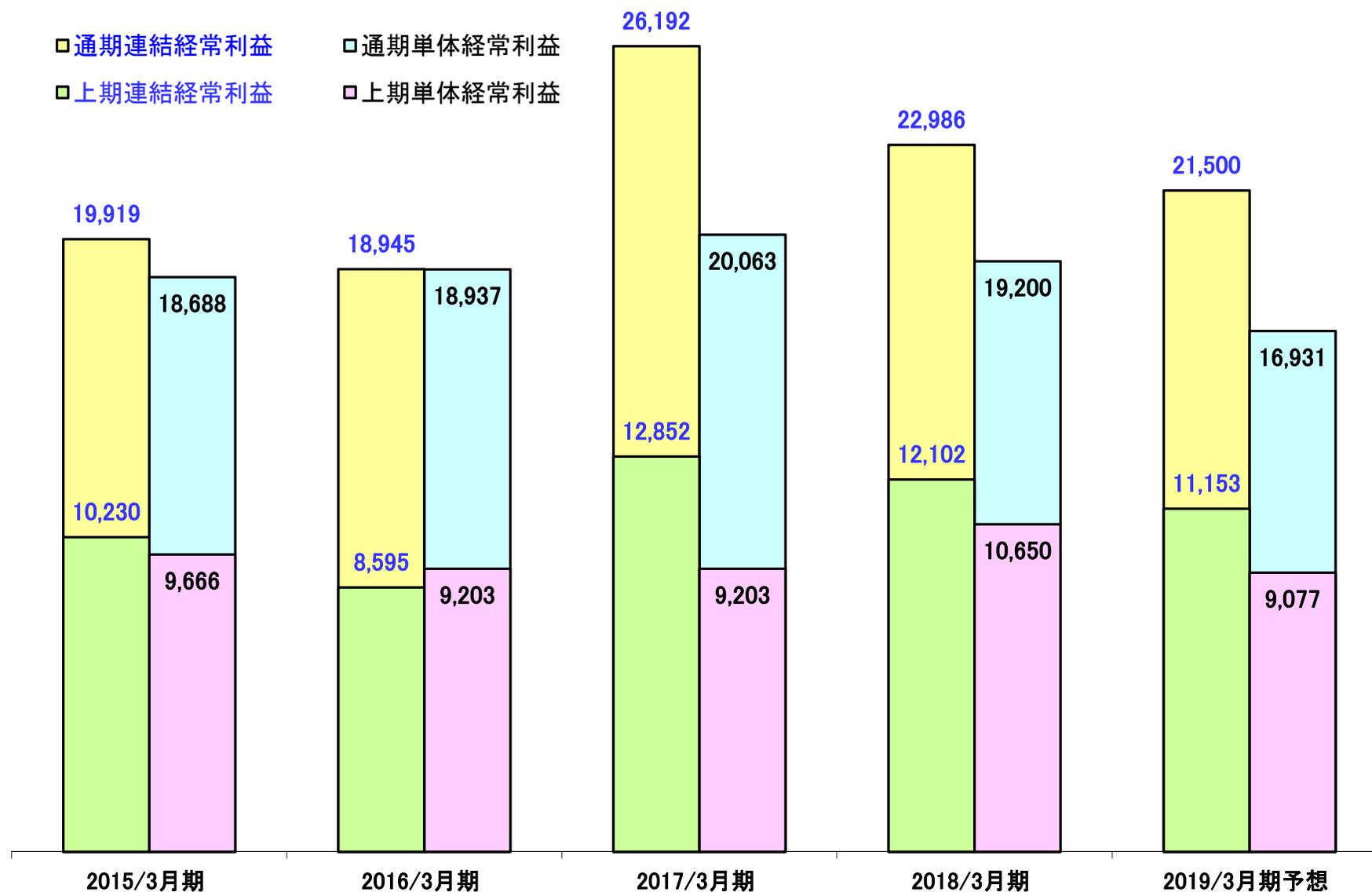
# 連結及び単体売上高 実績と予想 (11月発表分)

【単位:百万円】



# 連結及び単体経常利益 実績と予想 (11月発表分)

【単位:百万円】



# 連結営業成績予想 セグメント別 第5次中計目標対比



【単位 百万円】

	2019年3月期 予想				第5次中計 2021年3月期 目標			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日本	102,818	61.2%	16,164	80.4%	106,000	60.6%	18,400	76.7%
北米	32,607	19.4%	2,727	13.6%	32,000	18.3%	2,600	10.8%
アジア	32,575	19.4%	1,209	6.0%	37,000	21.1%	3,000	12.5%
調整額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	168,000	100.0%	20,100	100.0%	175,000	100.0%	24,000	100.0%

## 連結及び単体利益予想

連結決算予想	2019年3月期予想				2018年3月期 実績	通期予想 前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	82,565	85,435	168,000	-	156,267	7.5%
営業利益	10,042	10,058	20,100	12.0%	20,827	▲3.5%
経常利益	11,153	10,347	21,500	12.8%	22,986	▲6.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,386	6,914	14,300	8.5%	15,777	▲9.4%

単体決算予想	2019年3月期予想				2018年3月期 実績	通期予想 前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	47,628	52,126	99,754	-	95,601	4.3%
営業利益	6,603	7,241	13,844	13.9%	15,523	▲10.8%
経常利益	9,077	7,854	16,931	17.0%	19,200	▲11.8%
当期純利益	6,441	5,262	11,703	11.7%	13,828	▲15.4%

# 連結主要会社別通期予想 2019年3月期



(単位 億円)

	2018年8月開示通期予想				11月発表予想と8月発表予想との比較							
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
						差額		差額		差額		差額
丸一鋼管	1,001.6	138.4	169.3	117.0	997.5	▲4.1	138.4	0.0	169.3	0.0	117.0	0.0
MAC	76.3	5.2	5.5	3.3	98.1	21.8	10.5	5.3	11.4	5.8	6.8	3.5
MKK USA INC.	125.7	7.0	6.7	5.9	145.3	19.7	10.3	3.3	9.8	3.2	8.8	2.9
MOST	52.7	3.8	3.7	2.2	60.3	7.6	2.4	▲1.4	2.2	▲1.4	1.3	▲0.9
MMX	22.5	4.8	4.7	3.3	22.4	▲0.1	4.0	▲0.8	4.1	▲0.7	2.8	▲0.5
SUNSCO (含Hanoi)	273.9	13.7	11.7	8.5	259.3	▲14.6	5.2	▲8.6	2.9	▲8.8	2.7	▲5.8
KUMA	66.3	6.9	6.6	4.9	66.5	0.2	6.9	0.0	4.9	▲1.7	3.6	▲1.3
アルファメタル	52.9	1.7	1.9	1.3	51.3	▲1.5	0.6	▲1.1	0.8	▲1.1	0.5	▲0.8
その他 国内子会社	21.2	15.3	18.2	12.6	18.7	▲2.5	13.8	▲1.5	16.8	▲1.4	11.7	▲1.0
持分法適用 関連会社			4.3	4.3					5.2	0.9	5.2	0.9
のれん代		0.0						0.0				
連結調整	▲49.0	4.1	▲17.6	▲20.3	▲39.4	9.5	8.8	4.6	▲12.4	5.2	▲17.5	2.8
合計	1,644.0	201.0	215.0	143.0	1,680.0	36.0	201.0	0.0	215.0	0.0	143.0	0.0

# 通期単体損益予想

8月開示との差額主要因



【単位 億円】

	2019年3月期 通期		
	8月予想	11月予想	差額
売上高	1,001.6	997.5	▲4.1
営業利益	138.4	138.4	0.0
経常利益	169.3	169.3	0.0
税金等調整前 当期純利益	168.4	168.9	+0.5
当期純利益	117.0	117.0	0.0

## 売上高 増減

国内パイプ販売数量	▲15.1億円
国内パイプ販売単価	+7.2億円
輸出パイプ販売数量	+1.8億円
輸出パイプ販売単価	▲0.0億円
帯鋼販売数量	▲0.1億円
帯鋼販売単価	+0.2億円
特品事業部	▲1.0億円
関連帯鋼	▲2.5億円
機械その他	+5.4億円

## 営業利益 増減

全体販売数量要因	▲1.9億円
全体販売単価要因	+9.4億円
売上原価	▲7.0億円
販管費	▲0.5億円

## 経常利益 増減

営業利益より	▲0.0億円
受取配当金・有価証券利	+1.0億円
その他営業外収益	+1.5億円
営業外費用	▲2.5億円

## 税引前利益 増減

経常利益より	+0.0億円
投資有価証券売却益	+0.0億円
固定資産売却益	+0.2億円
固定資産除去損	+0.5億円
その他	▲0.2億円

## 当期利益 増減

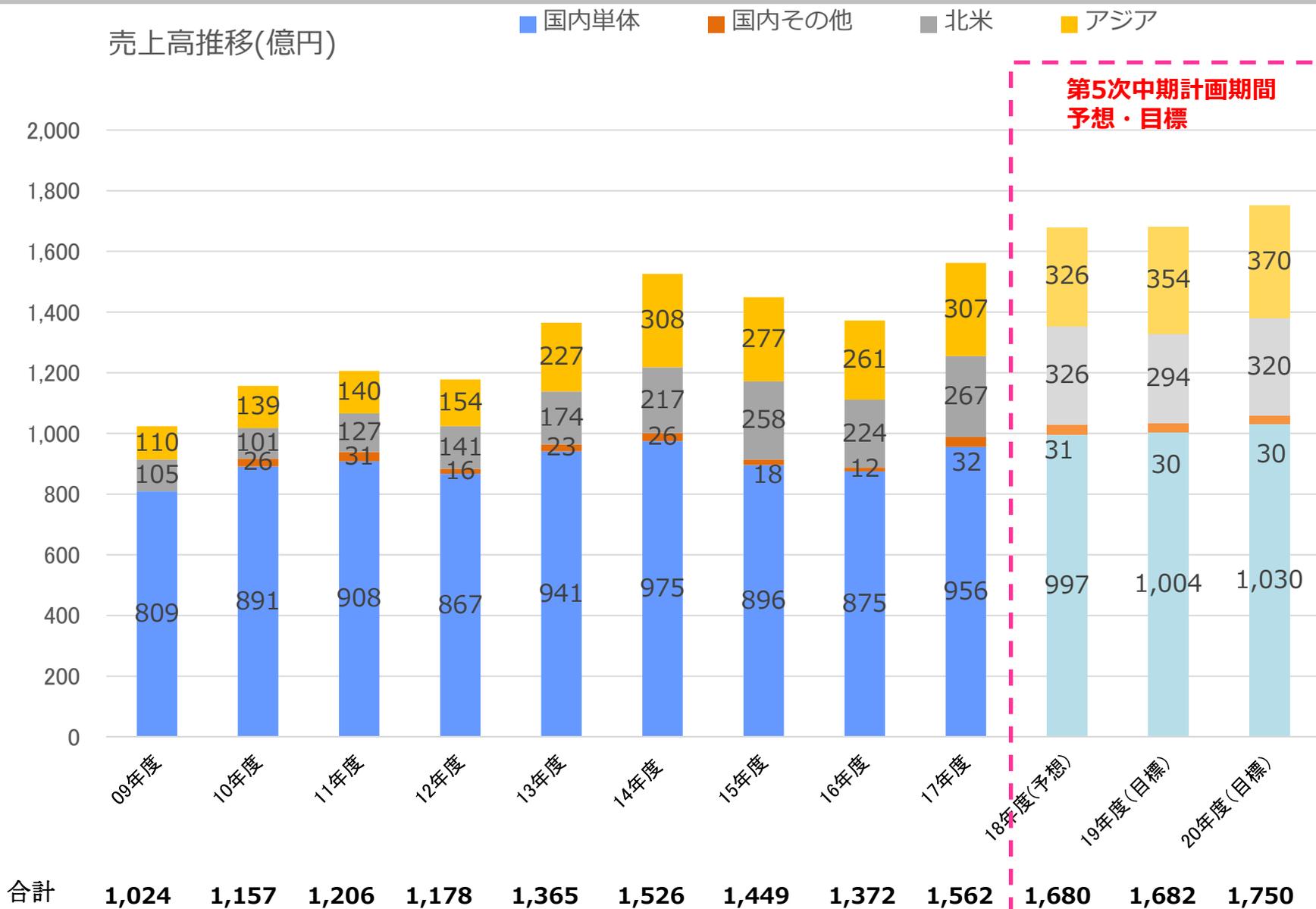
税引前利益より	+0.5億円
法人税等	▲0.5億円
法人税等調整額	+0.0億円

## IV. 第5次中期経営計画初年度の見通し

# 第4次中期経営計画実績と第5次中期経営計画の進捗状況

目標達成	第4次中期経営計画			第4次中期経営計画 最終年度	第5次中期経営計画	第5次中期経営計画 最終年度
	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2017年度 目標	2018年度 予想	2020年度 目標
売上高 (億円)	1,449	1,372	1,562	1,850	1,680	1,750
営業利益 (億円)	170	245	208	225	201	240
営業利益率	11.7%	17.8%	13.3%	12%	12%	13.7%
ROE	4.7%	7.4%	6.2%	6.5%以上	5.4%	6.5%
株主還元率	255.2%	49.6%	48.2%	70%以上 (3年平均)	50.6%	50.0%
	80.5% (3年平均)					
社会への 利益還元	2,100万円	2,200万円	2,400万円	2,100万円 (3年平均)	2,400万円	3,000万円
	2,237万円 (3年平均)					

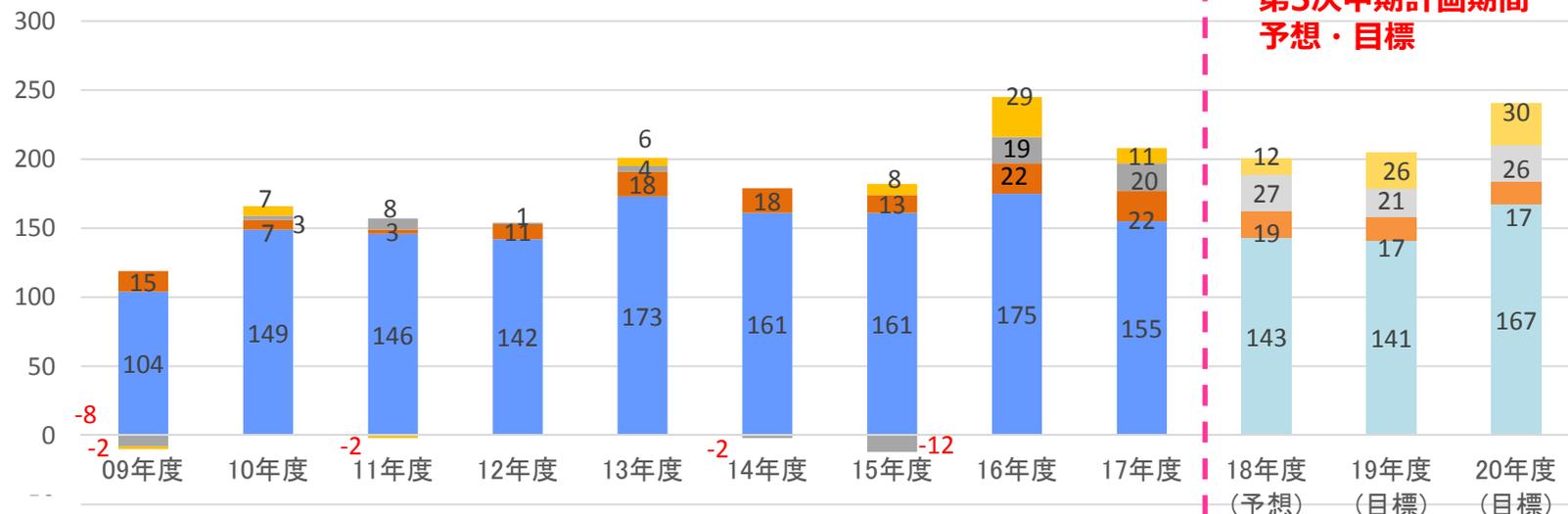
# 売上高目標と進捗状況



# 営業利益目標と進捗状況

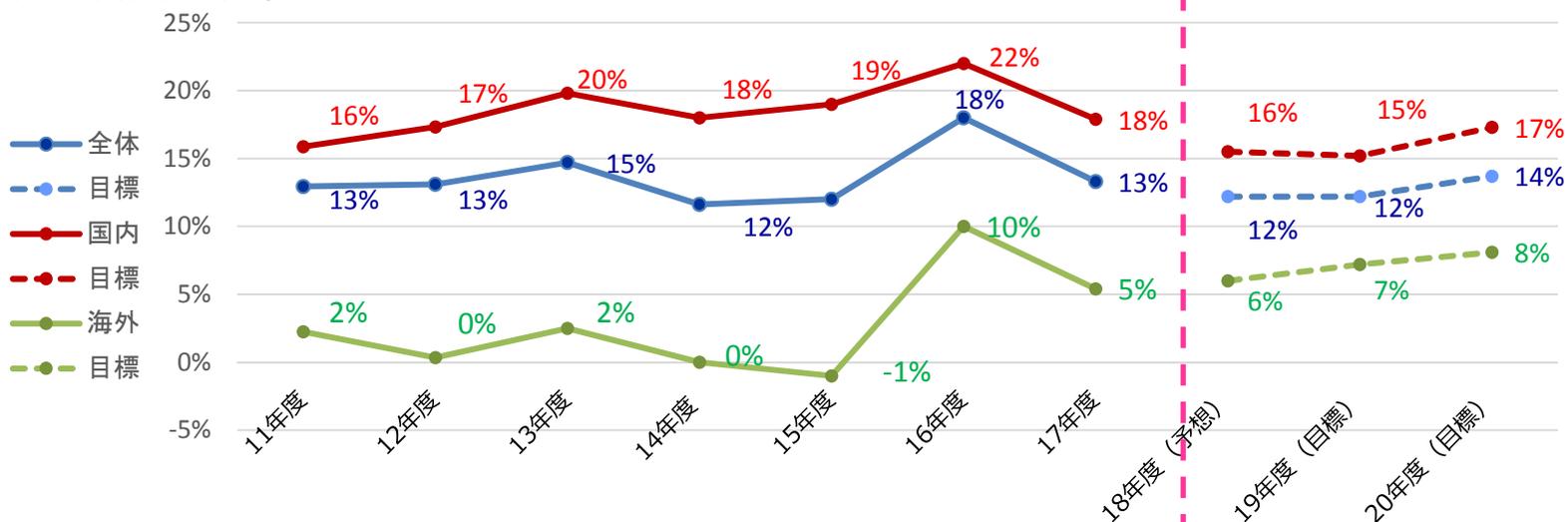
営業利益推移(億円)

■ 国内単体 ■ 国内その他 ■ 北米 ■ アジア



第5次中期計画期間  
予想・目標

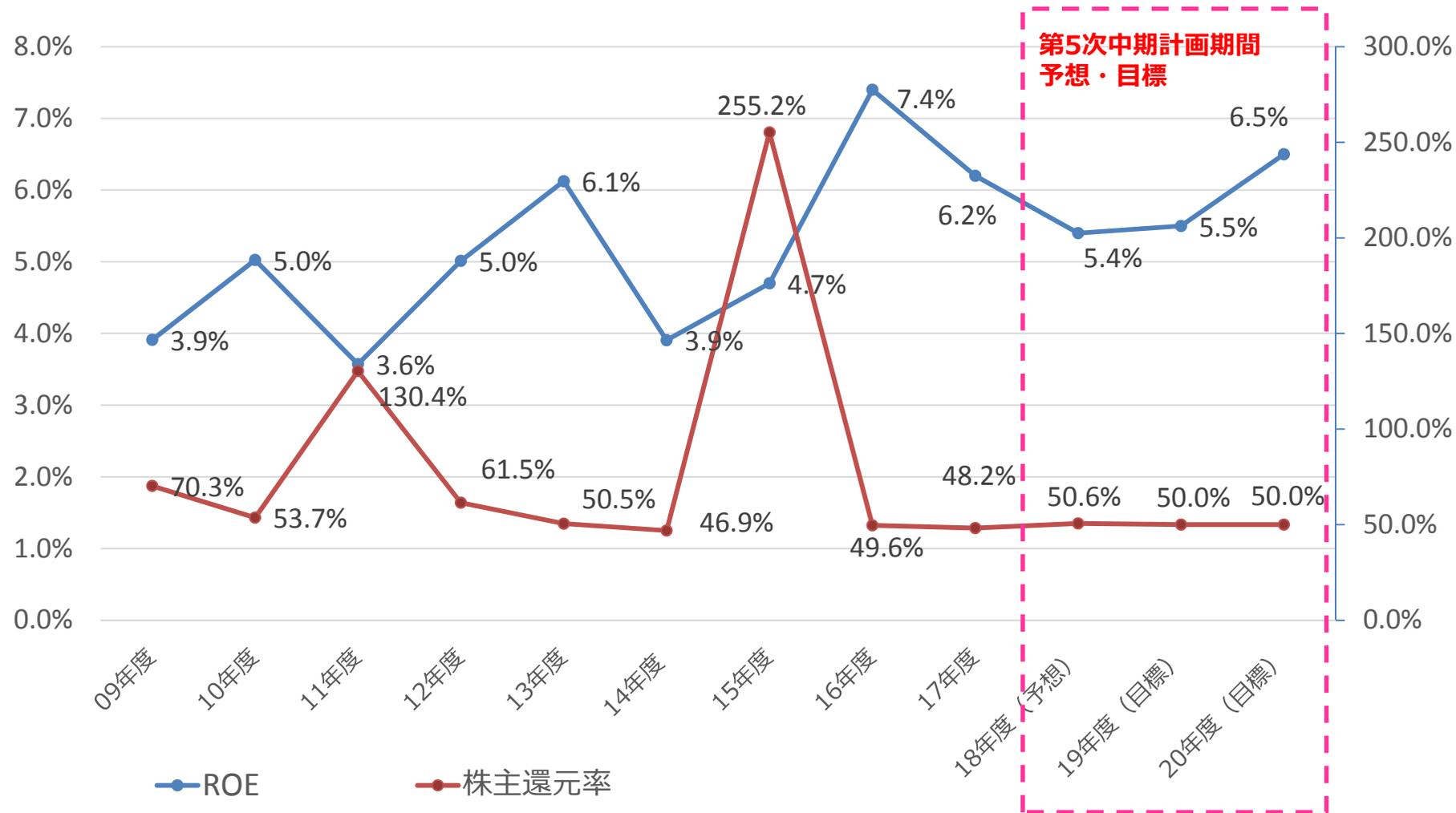
営業利益率推移 (%)



# 資本政策目標と進捗状況

## 第5次中期経営計画の目標

- 株主還元率（2018年度・2019年度・2020年度）⇒ 50.0%
- ROE目標：2018年度⇒5.3%、2019年度⇒5.5%、2020年度⇒6.5%



## 第5次中期経営計画期間の設備投資計画と今期の予想

(単位：億円)

		2018年度		2019年度	2020年度	3ヶ年計
		中計	予想	中計	中計	中計合計
設備投資合計		77	76	70	63	210
国内 グループ	設備投資	49	51	51	30	130
	減価償却	34	32	36	37	107
海外 グループ	設備投資	28	25	19	33	80
	減価償却	36	30	36	37	109

## 第5次中期経営計画期間の設備投資計画と今期の予想

		2018年度 (単位：億円)	
		中計	予想
国内 グループ	設備投資	49	51
	減価償却	34	32

案件	今期 投資額 (億円)	設備投資 予定総額	完成予定年月
今期 (2018年度)			
東京工場 2号機更新	2	2	2018/6
本社・大阪事務所、丸一鋼販本社・大阪営業所移転	3	3	2018/10
東京工場 No.1スリッター更新	4	4	2019/2
鹿島特品工場 拡縮管加工設備新設	2	4	2019/3
丸一鋼販 新潟営業所移転	8	10	2019/4
堺工場 変電設備更新	4	5	2019/8
詫間工場 圧延ライン更新	1	8	2020/3

## 第5次中期経営計画期間の設備投資計画と今期の予想

		2018年度 (単位：億円)	
		中計	予想
海外 グループ	設備投資	28	25
	減価償却	36	30

案件	今期 投資額 (億円)	設備投資 予定総額	完成予定年月
今期 (2018年度)			
米国MOST社 新工場建設	4	4	2018/5
米国Leavitt社 寸法切り設備新設	1	1	2018/5
米国Leavitt社 2インチミル更新	5	5	2018/6
米国MOST社 2インチミル新設	3	3	2018/10
米国MAC社 2インチミル更新	4	4	2018/12
来期以降の予定			
メキシコMMX社 切断工場建設・切断機増設		3	2019/4
フィリピンMPST社 工場・事務所建屋建設、生産設備新設 ※		16	2019/5
ベトナムSUNSCO社 第2冷延ミル新設		27	2020年末頃

※MPST社については、(株)アルファメタルが加工メーカーとして共同進出を検討しております。

	2018年度	2019年度	2020年度
生産	<p><b>効率的な保守・予防保全を目的とした設備保全システムの導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備のメンテナンスを記録した作業日報をデータ化、分析することにより更新サイクルを把握</li> <li>・過去1年分の手書き日報のデジタル化実施</li> <li>・設備台帳を作成し、設備予備品の全社共有管理を実施予定 (2017.11～堺工場、2018.7～東京工場・名古屋工場で導入)</li> </ul>		
今回更新	<p><b>稼働率向上を目的とした製造の見える化推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の異常停止や不良発生データをデジタル管理し、停止原因や停止時間データを分析することで製造計画と実績の乖離要因を把握</li> <li>・作業条件の整理を行い、安定した造管が可能となるよう現場へ展開 (第1段階として堺工場1号機で実施)</li> </ul>		
事務	<p><b>AIを活用した管理部門業務システムの導入</b></p>		

# 丸一鋼管グループのSDGsへの取組

丸一鋼管グループは、SDGs（持続可能な開発目標）への貢献の重要性を認識し、下記を達成すべき項目として掲げます。今後、第5次中期経営計画を推進する中で、当社の重要課題解決に向けグループ一丸となって取り組めるように、社内でSDGsの浸透を図ります。

**事業活動による価値創造**  
 優れた品質の鋼管製品供給  
 お客様のニーズに対応し信頼に応える

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 企業価値を支える基本的な考え方

多様な人材の活躍	環境への配慮 <b>E</b>	安全への対応強化 <b>S</b>	ガバナンス <b>G</b>	社会貢献活動 <b>S</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成に注力 <b>S</b></li> <li>ダイバーシティ文化の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー効率の向上</li> <li>省エネ</li> <li>資源の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害の撲滅</li> <li>安全教育</li> <li>社員の健康確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適時適切な情報開示</li> <li>経営の透明性の向上</li> <li>コンプライアンスの徹底</li> <li>BCPへの取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の教育、医療、文化活動、環境保護、スポーツ等幅広く支援</li> </ul>

ESG課題に関連付けながら取り組む（ **E** **S** **G** で表示）

## 多様な人材の活躍

S

### 外国人留学生の採用

2017年度：ベトナム人 2名  
2018年度：中国人 1名

### ベトナム人技能実習生の受け入れ

2017年度 2名受け入れ  
(東京工場)

### 女性活躍推進

- ・女性の積極的採用
- ・男性管理職向け研修会
- ・女性社員向け研修会
- ・女性が継続的に働き続けられる環境の整備(育児支援・復職支援制度)



## 環境への配慮

E

### メガソーラー事業

・全国各地の工場に太陽光発電設備を設置

設置数：国内7工場10拠点  
総発電量出力：1.25万kW  
年間発電量：1,456万kWh(2016年度)  
(グループ全体)1,585万kWh(2017年度)

### 省エネ設備の積極導入

・溶接設備の省エネタイプへの更新

設置数：国内約50台  
海外約30台

- ・廃熱利用設備の導入
- ・モーターのインバーター制御化
- ・高効率変圧器やLEDなどの省エネ機器採用



## 安全への対策強化 **S**

### 安全教育の充実

- ・安全教育部の設置（2015年10月～）
- ・新入社員への安全教育
- ・入社年次別の安全教育

### メンタルヘルスへの配慮

- ・管理職・監督職を対象とした研修
- ・ストレスチェックの実施
- ・高ストレス者へのフォロー体制の整備



### 労働災害撲滅に向けた取り組み

- ・全社安全生産会議の実施  
毎回開催工場を変え、現場巡視も含めた会議を2ヶ月に1回実施



危険体感施設（堺工場）での研修

## ガバナンス **G**

### コーポレートガバナンスコードの改訂

- ・コーポレートガバナンス・ガイドラインの策定
- ・コーポレートガバナンスコード改訂に伴うコーポレートガバナンス・ガイドラインの更新

### 適時適切な情報開示

- ・2018年度 日本証券アナリスト協会「高水準のディスクロージャーを連続維持している企業」に選定

### SNSの利用に関する研修の実施





本社、大阪事務所、丸一鋼販(株)本社、丸一鋼販(株)大阪営業所がなんばスカイオへ移転

### BCP対応強化

災害発生時の事業継承能力の向上

- ・先端の耐震構造
- ・非常用電源の確保
- ・サーバーシステムのデータセンターへの移動による危機管理

### 働き方改革に向けた 従業員の働きやすい環境づくり

- ・拠点統合による業務効率化
- ・各部署のワンフロアへの集約による部署間のコミュニケーション向上
- ・ペーパーレス会議システムの導入(予定)





## 配当実施後の単体純利益の0.5%程度の社会貢献支出の継続

### スポーツ

#### ・ラグビーワールドカップ2019花園開催を支援



日本での初開催（競技会場：東大阪市）大阪の企業として、地元での開催を支援

#### ・スポーツコミッション関西会員入会（2018年度～）

NEW

スポーツを通して関西の地域活性化に寄与

### グローバル

#### ・米日カウンシルを支援（2018年度～）

NEW



日系アメリカ人のリーダーシップのもと、日米関係の構築に貢献できる

次世代リーダーの育成を目指す

#### ・特定非営利活動法人「アジア失明予防の会」を支援（2015年度～）

・インド：Rajasthan州Pilani地区Bal Niketan 高等学校の学生への奨学金支給（2017年度）

## 配当実施後の単体純利益の0.5%程度の社会貢献支出の継続

### 文化

- ・正倉院展に協賛（2012年度～）
- ・大阪フィルハーモニー協会に協賛（2015年度～）
- ・劇団四季「こころの劇場」に協賛（2015年度～）
- ・「2025日本万国博覧会誘致委員会」に協賛（2017年度～） **NEW**
- ・**そうだ、文楽にいこう！！ワンコインで文楽 U-30（2018年度～）**

・**堺市民芸術文化ホール（2019年秋グランドオープン）整備を支援** **NEW**  
老朽化した旧堺市民会館に替わり、あらたな芸術文化の創造・交流・発信の拠点施設としてオープンする施設の整備を支援

・**「こども本の森・中之島」建設への支援** **NEW**  
本や芸術文化を通じて子どもたちの豊かな創造力を育む施設として、建築家：安藤忠雄氏の設立趣旨に賛同、支援



## ■ 高い配当性向の維持

### 【配当方針の堅持】

- ・ 個別損益計算書におけるみなし当期利益（※）の50%相当を年間配当とする

※みなし当期利益：経常利益×（1-実効税率）

2019年3月期：30.5%、2020年3月期(予定)：30.5%、2021年3月期(予定)：30.5%

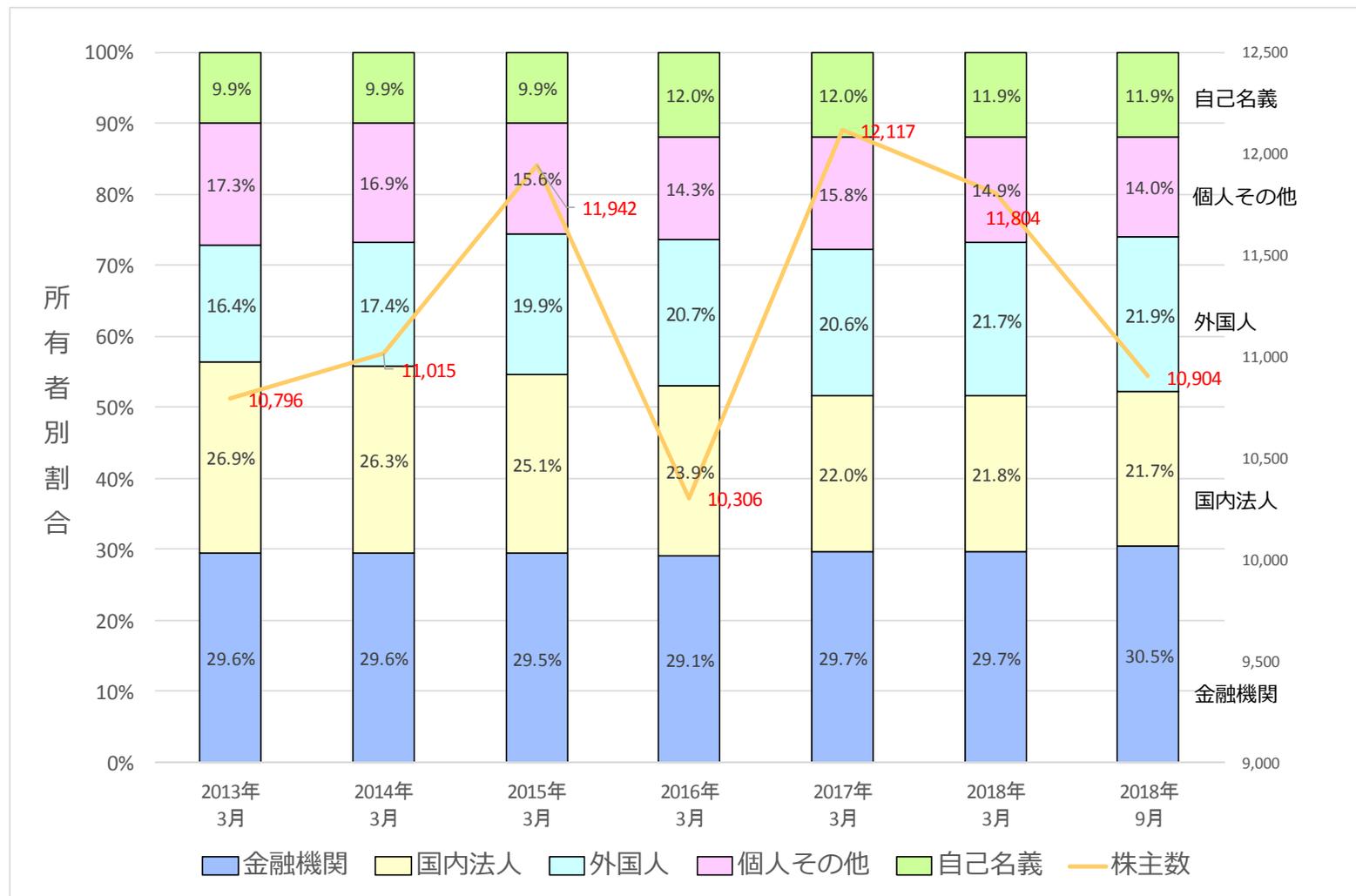
- ・ 一株あたり最低年間配当額は50円を維持

【目標】 最終年度2020年度に 株主還元率（単体）50.0%以上、ROE6.5%以上

(参考) 配当の実施状況	配当額			自社株買 株数/金額	当期純利益 (単体)	配当性向 (単体)	総還元率 (単体)	ROE (連結)
	中間配当額	期末配当額	年間配当額					
2016年3月期	(25.00) 2,094	(52.00) 4,303	(77.00) 6,396	2,000,000 株 6,491	5,050	126.7%	255.2%	4.7%
2017年3月期	(25.00) 2,069	(59.50) 4,923	(84.50) 6,992		14,091	49.6%	49.6%	7.4%
2018年3月期	(25.00) 2,071	(55.50) 4,598	(80.50) 6,669		13,828	48.2%	48.2%	6.2%
2019年3月期予想	(25.00) 2,071	(46.50) 3,852	(71.50) 5,923		11,703	50.6%	50.6%	5.4%
2021年3月期目標 (第5次中計最終年度)					14,200	50.0%	50.0%	6.5%

- ・ 自己株式取得 2015年7月 100万株、2016年1月 100万株

# (参考) 株主構成変化

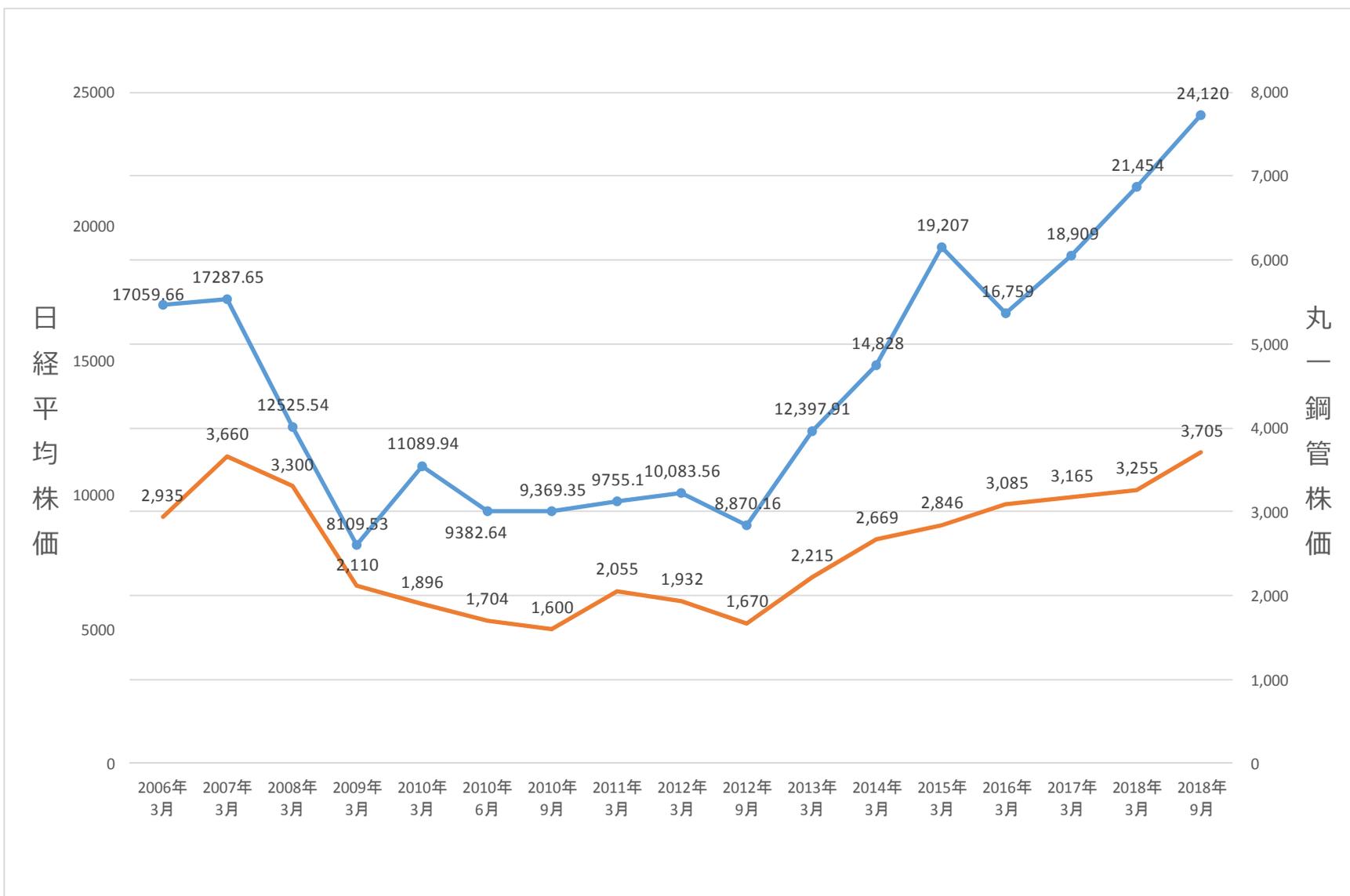


2005年10月より単元株を100株へ引き下げ、2008年4月 自己名義株のうち、426万株を消却

# (参考) 株価の動き 月末終値ベース



(単位：円)



# 第5次中期経営計画の課題と主要施策

## 1. 国内での取り組み

主要課題	主要施策	参照ページ
①高収益体質の維持、営業力の更なる強化 ②人手不足時代への対応と生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IoTやAIを活用した生産、事務の効率化 （生産ラインのIoT化、AIを活用した経理人事総務用業務ソフトの導入）</li> <li>・設備更新、採用方針や働き方の見直し</li> <li>・女性人材・外国人の活用</li> </ul>	P.35.37

## 2. 海外での取り組み

主要課題	主要施策	参照ページ
①米国3社 新設・/更新設備の活用、販売力の一層の強化による業容拡大 ②SUNSCO (HCM) 社 黒字化の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Leavitt・MAC 小径パイプの品質と生産性の向上</li> <li>・MOST 小径パイプの製造販売開始、品揃えの拡大</li> <li>・不採算取引の改善</li> <li>・パイプを中心とした国内営業力の強化</li> <li>・設備稼働率/歩留りの改善と間接部門の人員効率化による一層のコスト削減</li> </ul>	P.34

# 第5次中期経営計画の課題と主要施策

## 2. 海外での取り組み

主要課題	主要施策	参照ページ
③自動車／二輪車関連 各国での生産拡大に対応した設備投資の実施と営業力の強化  ④優秀な現地人材の確保と一層のレベルアップ  ⑤海外収益の配当／Royalty等での国内への還元強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MMX社：切断工場の増設</li> <li>・ SUNSCO社（HNI）：工場の増設</li> <li>・ MPST社の立ち上げ</li>   <li>・ 本社派遣者から現地人材への交代促進</li> </ul>	P.34

## 3. 国内外共通の取り組み

主要課題	主要施策	参照ページ
①労働時間及び人件費当たりの労働生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内工場 老朽設備の更新、IoT技術を活用した自動運転による省力化と操業・保守の最適化</li> <li>・ 国内事業部門 AI技術を組み込んだ経理・人事・総務業務への新システム導入による効率化と省力化</li> <li>・ 海外 現地人材のレベルアップによる生産性の向上</li> </ul>	P.35.37

# 第5次中期経営計画の課題と主要施策

## 3. 国内外共通の取り組み

主要課題	主要施策	参照ページ
<p>②より一層の環境への配慮、エネルギー効率の向上、安全への対応強化</p> <p>③国内外でのM&amp;Aを含めた事業投資の積極的な検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明のLED化による消費電力の削減</li> <li>・ノンクロム化</li> </ul>	P.37

## 4. 株主重視政策及び社会貢献方針の堅持

主要課題	主要施策	参照ページ
<p>①高い配当性向の維持 「単体経常利益×(1-法人実効税率)×50%」の配当方針の継続</p> <p>②社会貢献 配当実施後の単体純利益の0.5%程度の社会貢献支出の継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人実効税率引き下げ効果を配当でも還元</li> <li>・最低配当額50円の継続</li> <li>・国内 文化芸術支援、スポーツ振興、医療教育、自然環境保護分野への貢献の継続</li> <li>・海外／振興 貧困撲滅、健康医療、教育振興への貢献強化</li> </ul>	<p>P.42</p> <p>P.40.41</p>

## (参考資料) 海外各社の概要と業績の推移

# ベトナム SUNSCO社

**社名** Maruichi Sun Steel Joint Stock Company  
 (SUNSCO社)  
**設立** 1996年6月 (2006年資本参加)  
**所在地** ベトナム ホーチミン 及び ハノイ  
**資本金** US \$ 130百万  
**株主構成**

丸一鋼管	72.53 %
豊田通商	9.73 %
JFEスチール	8.00 %
台湾株主	9.74%

  
**従業員数** 531 人  
**生産実績** 年間 266,600 MT



製品倉庫 (2018年3月完成)

業績の推移 (含HANOI)

(単位: 百万US \$)

	売上高	営業利益
2013年12月	205	2
2014年12月	256	▲ 2
2015年12月	196	5
2016年12月 実績	202	17
2017年12月 実績	226	▲ 1
2018年12月 予想	238	0
第5次中期計画(2020年12月) 目標	258	20

11月発表

## 米国 Leavitt社

社名	Maruichi Leavitt Pipe&Tube, LLC (Leavitt社)	
設立	1956年 (2008年資本参加)	
所在地	イリノイ州、シカゴ	
資本金	US \$ 25,225千	
株主構成	MKK USA. INC	90.00 %
	米国住友商事	10.00 %
従業員数	117 人	
生産実績	年間 110,100 MT	



2インチミル(2018年7月更新完了)

### 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2013年12月	113	1
2014年12月	130	▲ 17
2015年12月	102	▲ 26
2016年12月	90	5
2017年12月 実績	106	6
2018年12月 予想	133	10
第5次中期計画(2020年12月) 目標	123	9

11月発表

# 米国 MAC社

社名 Maruichi American Corporation (MAC社)

設立 1978年12月

所在地 カリフォルニア州

資本金 US \$ 7.5百万

株主構成	丸一鋼管	53.00 %
	メタルワン	30.00 %
	丸一鋼販	8.00 %
	三菱UFJ銀行	5.00 %
	三井住友銀行	4.00 %

従業員数 66 人

生産実績 年間 66,500 MT



製品倉庫  
(2018年3月完成)



## 業績の推移

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2013年12月	66	2
2014年12月	62	3
2015年12月	60	0
2016年12月	60	6
2017年12月 実績	68	3
2018年12月 予想 <b>11月発表</b>	90	9
第5次中期計画(2020年12月)目標	74	6

## 米国 MOST社

社名	Maruichi Oregon Steel Tube, LLC (MOST社)
設立	2015年
所在地	オレゴン州、ポートランド
資本金	US \$ 55百万相当
株主構成	MKK USA 100 %
従業員数	52 人
生産実績	年間 45,700 MT



MOST社 2インチミル(2018年11月新設)

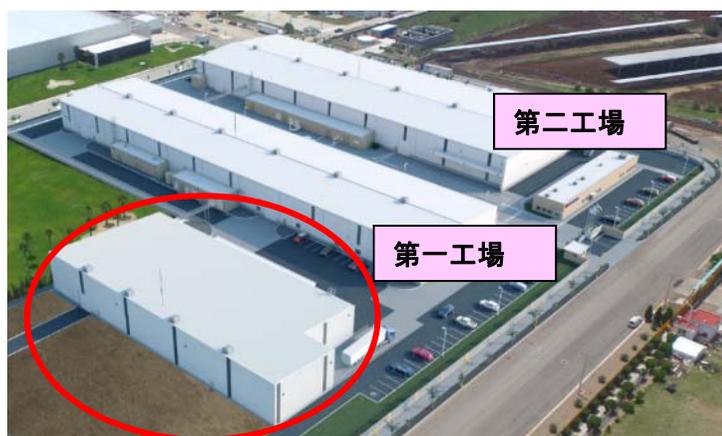
### 業績の推移

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2015年12月	35	0
2016年12月	39	4
2017年12月 実績	48	3
2018年12月 予想	55	2
第5次中期計画(2020年12月) 目標	59	5

# メキシコ MMX社

**社名** MARUICHIMEX S.A. de C.V. (Maruichimex社)  
**設立** 2012年1月  
**所在地** メキシコ アグアスカリエンテス州  
**資本金** US \$ 2,080万相当  
**株主構成**  
 MAC 30.00 %  
 MKKUSA 30.00 %  
 伊藤忠丸紅  
 鉄鋼グループ 20.00 %  
 豊田通商 20.00 %  
**従業員数** 65 人  
**生産実績** 年間 10,700 MT



切断工場 完成予想図(2019年4月完成予定)

## 業績の推移

(単位: 百万US\$)

	売上高	営業利益
2013年12月	1	▲ 1
2014年12月	12	1
2015年12月	15	3
2016年12月	18	4
2017年12月 実績	19	4
2018年12月 予想	20	3
第5次中期計画(2020年12月) 目標	29	6

# インド KUMA社

**社名** Maruichi KUMA Steel Tube Private Limited  
 (KUMA社)  
**設立** 2003年11月(2009年資本参加)  
**所在地** インド ハリヤナ州 グルガオン マネサール  
 及び バンガロール  
**資本金** INR 89百万相当  
**株主構成** 丸一鋼管 70.00 %  
 豊田通商 30.00 %  
**従業員数** 108 人  
**生産実績** 年間 22,200 MT



バンガロール工場

## 業績の推移

(単位:百万US\$)

	売上高	営業利益
2013年3月	30	4
2014年3月	31	3
2015年3月	34	2
2016年3月	35	2
2017年3月	41	4
2018年3月 実績	51	5
2019年3月 予想	61	6
第5次中期計画(2021年3月)目標	74	8

11月発表

社名	Maruichi Metal Product (Foshan) Co.,Ltd. (MMP社)		
設立	2005年4月		
所在地	広東省佛山市		
資本金	US\$ 1,800万 相当		
株主構成	丸一鋼管	35.00	%
	巨冠有限公司	35.00	%
	Chung Mao Trading	15.00	%
	豊田通商	10.00	%
	メタルワン	5.00	%
従業員数	193 人		



武漢工場



丸一金属制品(佛山)有限公司



丸一金属制品(天津)有限公司

## インドネシア ISTW社

社名	PT. Indonesia Steel Tube (ISTW社)		
設立	1972年12月		
所在地	ジャカルタ		
資本金	US \$ 435万 相当		
株主構成	丸一鋼管	20.00	%
	メタルワン	60.00	%
	現地	20.00	%
従業員数	550 人		



ジャカルタ工場



ジャカルタ東部 チカラン工場



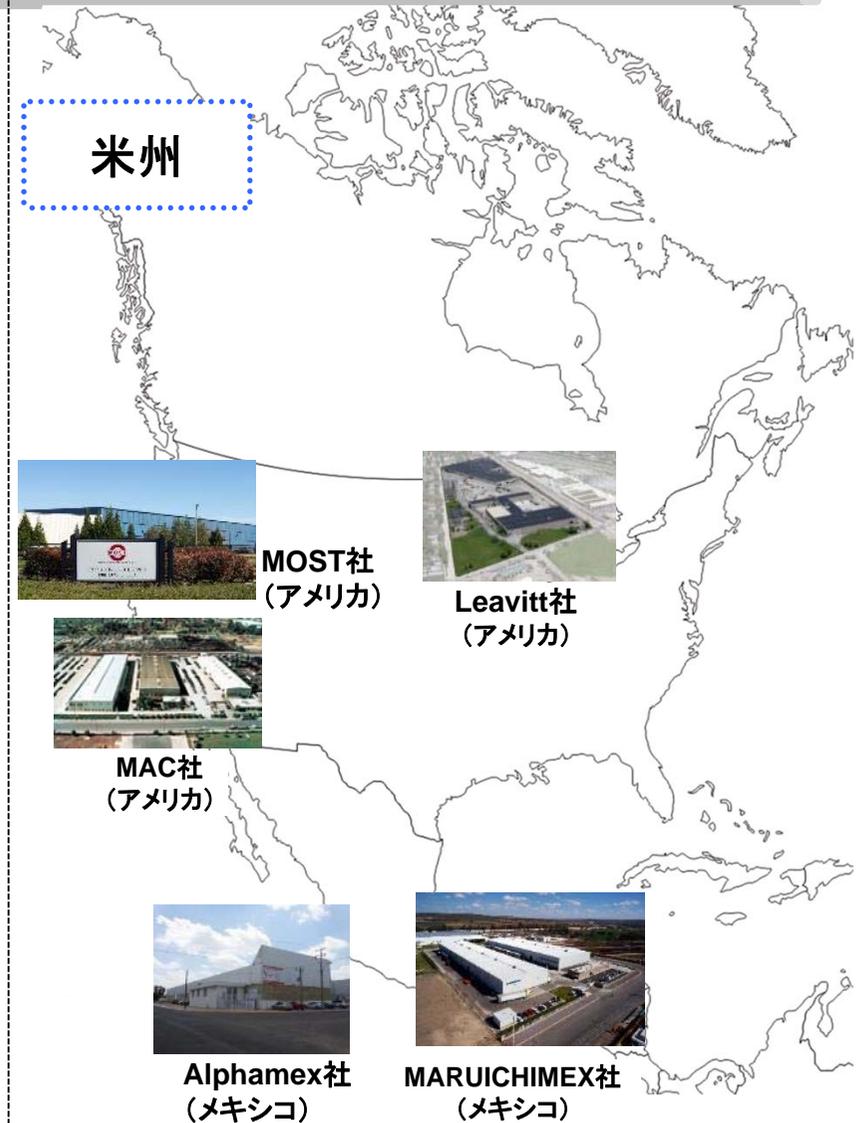
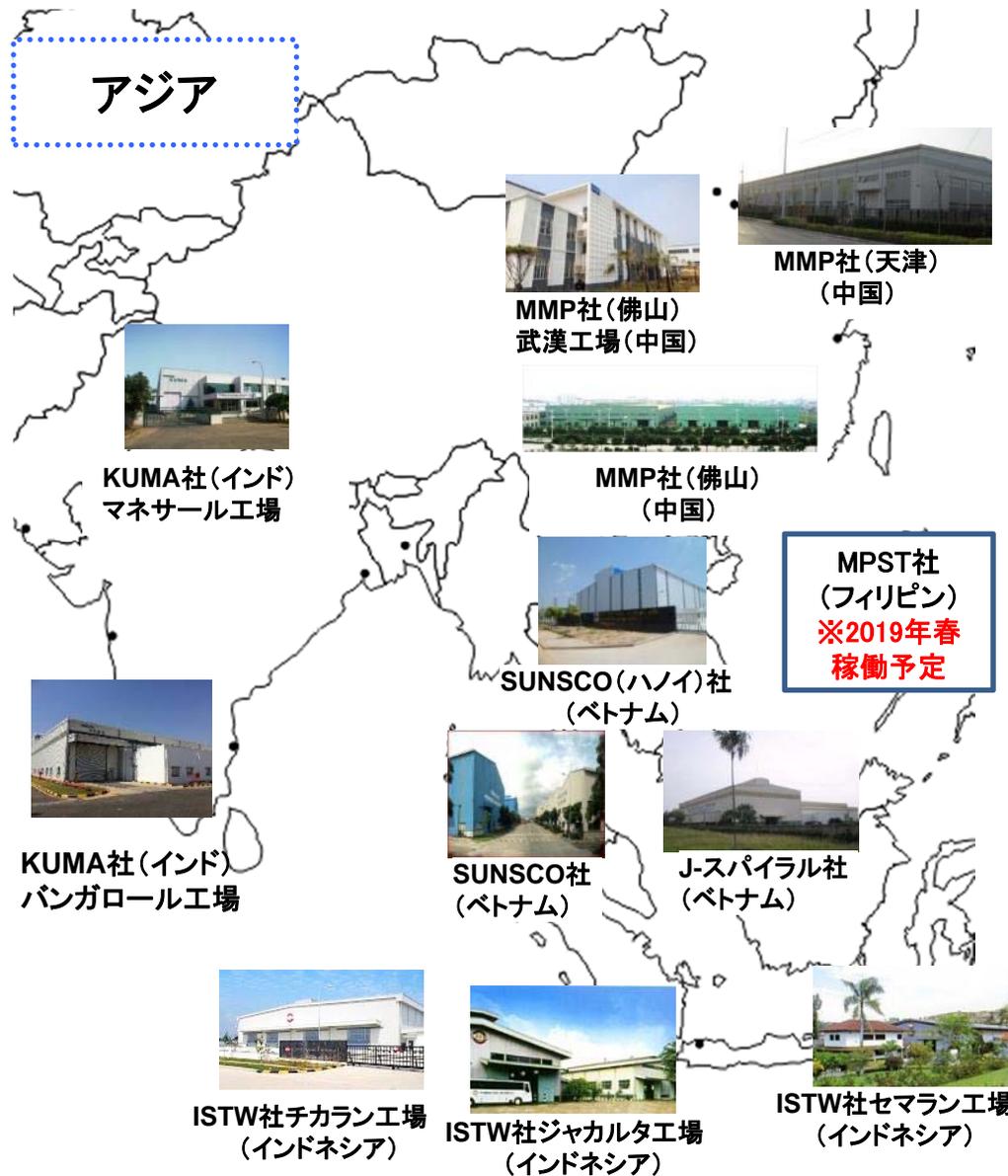
セマラン工場

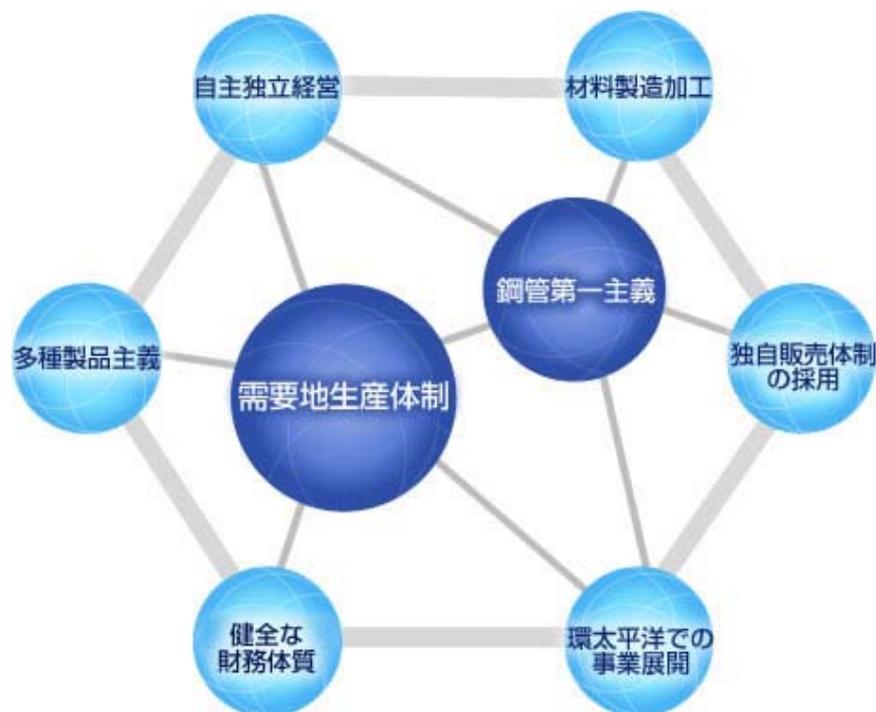
# (参考資料) 丸ーグループの特色

- わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。



### 3. 海外生産拠点





### 需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 12 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

### 多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

### 材料製造加工

詫間工場加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

### 自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

### 健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

### 鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

### 独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がビビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

### 環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

## 5. 沿革

1926	自転車部品製造の丸一製作所を発足	1989	詫間工場を新設	2015	MOST社 連結子会社化
1935	自転車鋼管の製造を始める	1998	北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を 苫小牧工場に統合	2016	大阪工場 集約完了
1940	丸一鋼管工場と改称	2000	新広島事務所・倉庫完成	2018	本社、大阪事務所、営業部電材課、 丸一鋼管株式会社 本社、同大阪営業所を 大阪市中央区難波に移転
1948	株式会社丸一鋼管製作所を設立	2001	詫間工場に焼鈍設備を新設		
1956	大阪出張所を改組し、丸一鋼管株式会社を設立	2002	東京第二工場新倉庫を建設		
1957	大阪工場を新設	2003	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設		
1958	東京事務所を開設 米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を 輸入し、電縫管メーカーに転換	2005	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承		
1960	丸一鋼管株式会社と商号変更 名古屋事務所開設	2006	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工 中国 MMP社操業開始 東洋特殊鋼業へ出資 ベトナム SUNSCO社へ出資		
1961	東京工場を新設	2007	名古屋工場0.5インチミル増設 堺工場 第6工場の新設 設備稼働 詫間工場 メッキ炉改造工事 酸洗ライン トリミング設備設置		
1962	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場	2008	SUNSCO社・LEAVITT社 連結子会社化 堺工場リニューアル工事完了		
1964	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場 福岡事務所を開設	2009	インド KUMA社 子会社化 セイケイ 堺製造所 稼働		
1965	堺工場を新設	2010	アルファメタル 連結子会社化 SUNSCO社 16インチミル増設 SUNSCO社 HANOI社 操業開始 ベトナム J・スパイラルスチールパイプ社へ出資		
1966	名古屋工場を新設 (昭和59年現名古屋工場へ統合) 広島事務所を新設	2011	中国 MMP天津社 稼働 東京第二工場 ステンレス鋼管工場を新設 堺特品工場 第2工場を増設		
1970	北海道丸一鋼管株式会社を設立 札幌事務所を開設	2012	中国 MMP社 武漢工場新設 東京第二工場 第3工場を新設 メキシコ Maruichimex社設立		
1971	インドネシア ISTW社を設立	2013	詫間工場 メガソーラー発電所 稼働 SUNSCO社 第2CGL・CCL稼働		
1972	特品工場を新設 大阪事務所を開設	2014	東京工場 集約完了 Maruichimex社 連結子会社化		
1973	東京工場第二工場を新設				
1974	四国丸一鋼管株式会社を設立 九州丸一鋼管株式会社を設立				
1977	名古屋第二工場(現名古屋工場)を新設				
1978	本社を大阪市西区北堀江に移転 アメリカ MAC社を設立				

## 丸一鋼管グループの方向性について

1. 今後も株主重視の経営を推進し、株主価値の最大化に向けて  
不断の努力を続けて参る所存です。そして、鋼管業界において  
グローバルでみて質・量共に世界でもトップと言える企業集団へ  
成長発展を続けてまいります。
2. 新たに策定いたしました第5次中期経営計画のもと、事業環境  
が急激に変化するなか、引き続き社会の要請に応えながら高い  
収益力を維持しつつ、将来の成長に必要な投資を積極的に行い、  
さらなる成長を目指してまいります。

# Devoted to Steel Tubes

## 丸一鋼管株式会社

### 注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。